

平成6年度水稲作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成6年度水稲作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成6年12月9～10日の2日間、植調会館会議室において開催された。なお、適1試験は、平成6年10月6日植調会館にて開催された。これらの成果の概要を報告する。

1) 第1次適用性試験(適1)成績について

平成6年度の適1試験は、北海道地域(植調北海道試験地)、東北地域(植調古川試験地)、北陸地域(植調新潟第1試験地)、関東地域(植調研究所)、近畿地域(植調滋賀試験地)、中国地域(植調広島試験地)、九州地域(植調佐賀試験地)の全国7地域で62薬剤(のべ307点)について実施した。その判定結果は、第1表のとおりである。

2) 第2次適用性試験(適2)成績について

平成6年度の適2試験は、次のような試験区分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前土壌混和处理(Ⅱ-1, 6剤40点)、移植前後土壌処理(Ⅱ-2, 8剤148点)、移植後土壌処理(Ⅱ-3, 11剤120点)、茎葉兼土壌処理(Ⅱ-4, 5剤42点)、適用時期拡大(Ⅱ-5, 8剤111点)、特殊雑草防除(Ⅱ-6, のべ86剤178点)、湛水直播栽培用(Ⅲ-1, 3

剤26点)、乾田直播栽培用(Ⅲ-2, 5剤14点)、畦畔雑草用(Ⅳ, 7剤48点)、耕起前雑草用(Ⅴ, 5剤27点)、不耕起栽培移植・播種前雑草対象(Ⅴ, 6剤27点)、初期一発処理剤(Ⅶ-1, 28剤291点)、初・中期一発処理剤(Ⅶ-2, 69剤794点)、長期持続型一発処理剤(Ⅶ-3-(1), 3剤39点)、一年生持続型除草剤(Ⅶ-3-(2), 3剤37点)、少量散布(Ⅷ, 5剤30点)の総のべ点数が1,972点であった。これら適2試験の判定結果は第2表のとおりである。

3) ジャンボ剤適用性試験成績について

平成6年度の適用性試験は、次のような試験区分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前後土壌処理(Ⅱ-2, 3剤29点)、移植後土壌処理(Ⅱ-3, 1剤5点)、茎葉兼土壌処理(Ⅱ-5, 1剤13点)、特殊雑草防除(Ⅱ-6, のべ2剤8点)、一発処理剤(Ⅶ, 6剤46点)、長期持続型一発処理剤(Ⅶ-3-(1), 2剤21点)、一年生持続型除草剤(Ⅶ-3-(2), 1剤8点)の総のべ点数が130点であった。これら適用性試験の判定結果は第3表のとおりである。

第1表 平成6年度水稻作関係除草剤適1試験成績判定結果一覧表

注) 判定欄の記号については, ◎;極めて有望, ○;有望, □;可能性あり, △;再検討, ×;見込みなし, を表す.

No	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 [今後の課題点等]
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
1	AC-014C-1kg 粒 [日本サイナミック]	AC-140:0.6 CH-900:3 ダィムロン:6	◎	○	○	◎	○	◎	○	全域:○, +5~ノ ^ノ ノ ^ノ 2L (一発処理剤)
2	AGH-925-1kg 粒 [アグロス]	フタミス:9 DEH-112:1.8 ヒラゾスルフロニチル:0.3		□	○					寒冷地:□ [水稻に対する影響の 検討]
3	CH-941 フロアブル [中外製薬]	CH-900:4.5 ヘンズルフロニチル:1.4 ダィムロン:8	○	○						寒地・寒冷地北部:○, +5~ノ ^ノ ノ ^ノ 2.5L (一発処理剤)
4	CH-941① フロアブル [中外製薬]	CH-900:4.5 ヘンズルフロニチル:1 ダィムロン:8			◎	○	○	○	○	寒冷地南部以西:○, +5~ノ ^ノ ノ ^ノ 2.5L (一発処理剤)
5	CHA-940 フロアブル [中外製薬]	既知(3種)		◎		◎		○		○, +5~ノ ^ノ ノ ^ノ 2L (一発処理剤)
6	CHG-948-1kg 粒 [中外製薬]	CH-900:2.1 シスルフロニ:0.18 ダィムロン:4.5	◎	○	○	○	○	□	□	寒地~温暖地:○, +5~ノ ^ノ ノ ^ノ 2L(一年生持続 型除草剤:ノ ^ノ ノ ^ノ 他一年生 雑草, マツバノイ, ノ ^ノ ノ ^ノ) [温暖地西部・暖地:除草 効果]
7	DH-942 フロアブル [大日本インキ]	ヒラゾスルフロニ:12 既知:3.6 既知:1.4	□	◎		□				□ [寒地:水稻に対する影 響・除草効果]
8	DH-942① フロアブル [大日本インキ]	ヒラゾスルフロニ:12 既知:3.6 既知:1			○	□	○	□	□	□ [除草効果]
9	DH-943 フロアブル [大日本インキ]	ヒラゾスルフロニ:11 シスルフロニ:0.45	□	◎	○	□	○	□	○	□ [水稻に対する影響・徐 草効果]

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
10	HJ-941-1kg 粒 〔ヘキスト〕	未公開(3種):16.71	◎	○	◎	○	○	○	□	寒地～温暖地:○, +3～/t ⁺ 12L(一発処理剤) 〔/t ⁺ 12Lの効果. 暖地: 水稻に対する影響〕
11	HJ-942-1kg 粒 〔ヘキスト〕	未公開(3種):8.21	◎							寒地:○
12	HJ-943-1kg 粒 〔ヘキスト〕	未公開(4種):10.71	◎	□	○	○	○	○	□	□ 〔寒冷地北部・暖地:水稻 に対する影響〕
13	HJ-944-1kg 粒 〔ヘキスト〕	未公開(3種):13.21	○	□	○	○	○	○	□	□ 〔寒地・寒冷地北部:/t ⁺ 1 に対する効果〕
14	HJ-945-1kg 粒 〔ヘキスト〕	未公開(3種):7.21	○	□	○	□	○	○	○	□ 〔寒冷地北部・暖地:水稻 に対する影響. 寒地・ 寒冷地北部:/t ⁺ 12.5L の効果〕
15	HJ-946-1kg 粒 〔ヘキスト〕	未公開(3種):7.71	◎	□	○	□	○	○	□	□ 〔寒冷地北部・暖地:水稻 に対する影響. 寒地・ 寒冷地北部:/t ⁺ 12.5L の効果〕
16	HOK-05MN-1kg 粒 〔北興化学〕	ジメチルヘレート:15 ヘンツレート:4.5 シマトリソ:3 フィチオール:2.1	□	□	○	○	○	○	△	寒地～温暖地:○, /t ⁺ 1.5L～3L(茎葉兼土 壌処理剤:/t ⁺ 1他一年生 雑草, マツハイ, ホタルイ, ウリカ, ミスガヤツリ) 〔暖地:一年生広葉雑草 等に対する効果, 処理 時期と薬害〕
17	HOK-05MN [Ⓢ] -1kg 粒 〔北興化学〕	ジメチルヘレート:15 ヘンツレート:4.5 シマトリソ:3 フィチオール:1.8	□	○		○				寒地～温暖地東部:○, /t ⁺ 1.5L～3L(茎葉兼土 壌処理剤:/t ⁺ 1他一年生 雑草, マツハイ, ホタルイ, ウリカ, ミスガヤツリ)

No	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 [今後の課題点等]
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
18	HSW-941-1kg 粒 [北海三共]	ジメタメトリン:0.6 ピラゾレート:18 フenchクロール:3 ベンゾレート:3	◎							寒地:○, +5~12L (一発処理剤)
19	HSW-942-1kg 粒 [北海三共]	DEH-112:1.8 既知(4種): 0.06+0.3+3+0.6	○							寒地:○, +5~13L (一発処理剤)
20	IDH-120-1kg 粒 [出光興産]	新規(未):3	□	○		○		□	△	□, +5~12L [混合母剤としての活用]
21	IDH-121-1kg 粒 [出光興産]	新規2種(未):3.15	○	○		○		□	△	□, +5~12L(1L他 一年生雑草, マハイ) [雑草に対する効果]
22	KUH-936B-1kg 粒 [クミアイ化学]	ベンズルフロ:0.51 メナセット:2.25 KUH-920:0.3			○	○	○	○	□	寒冷地南部以西:○, +5~12.5L (一発処理剤) [温暖地西部・暖地:1L 3Lの効果]
23	KUH-936C-1kg 粒 [クミアイ化学]	ベンズルフロ:0.75 フenchクロール:1.8 KUH-920:0.3	◎	◎						寒地・寒冷地北部:○, +5~13L(一発処理剤)
24	KUH-936C-1kg 粒 [クミアイ化学]	ベンズルフロ:0.51 フenchクロール:1.8 KUH-920:0.3			○	○	○	○	□	寒冷地南部以西:○, +5~12.5L (一発処理剤) [温暖地西部・暖地:1L 3Lの効果]
25	MK-243DS-1kg 粒 [三菱化成]	MK-243:1.5 既知(2種):0.36	◎	○	◎	○	○	○	○	全域:○, +5~12.5L (一発処理剤) [1L3Lの効果]
26	MKS-245 水和 [三笠化学]	DEH-112:2 ベンツァン(酸):20 ベンゾレート:4.5	△	○		□		○	○	□ [寒地・暖地:水稻に対 する影響. 寒地:1L に対する効果]

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
27	MSC-301-1kg 粒 〔三井東圧化学〕	ナゾロニル:15 プロトフル:9 CH-900:2		○		◎		○		○, +5〜/t ² L(/t ² L他 一年生雑草, マツバ, 雑草)
28	NBA-061-1kg 粒 〔日本バイエル〕	未公開:2.5	□	△	○	○	□	□	□	□ 〔/t ² L2.5L〜3Lの効果, 混合母剤としての活用〕
29	NBA-941-1kg 粒 〔日本バイエル〕	メナセト:7.5% DEH-112:1.5% NC-311:0.3%	◎	◎		○		◎	○	○, /t ² L〜3L (一発処理剤) 〔効果の持続性〕
30	NBA-942a-1kg 粒 〔日本バイエル〕	メナセト:7.5% DEH-112:1.5% DPX-84:0.75%	◎	◎						寒地・寒冷地北部:○, /t ² L〜3L(一発処理剤) 〔効果の持続性〕
31	NBA-942b-1kg 粒 〔日本バイエル〕	メナセト:7.5% DEH-112:1.5% DPX-84:0.51% タイムロン:4.5%			◎	○	◎	◎	○	寒冷地南部以西:○, /t ² L〜3L(一発処理剤) 〔効果の持続性〕
32	NBA-943-1kg 粒 〔日本バイエル〕	メナセト:7.5% DEH-112:1.5% TH-913:0.9% タイムロン:15%	◎	◎				◎	○	○, /t ² L〜3L (一発処理剤) 〔効果の持続性〕
33	NC-311KPD ^① 顆粒水和 〔日産化学〕	ピラゾスルフロンエチル:3.2 KPP-314:50	◎	◎		□	○		△	寒地〜温暖地:○, +0〜/t ² L1.5L (一発処理剤) 〔暖地:水稻に対する影響〕
34	NC-345-1kg 粒 〔日産化学〕	ピラゾスルフロンエチル:0.3 エスロカル:21 オキサジソロン:2.4	◎	◎		○	○		△	寒地〜温暖地:○, +5〜/t ² L2.5L (一発処理剤) 〔暖地:水稻に対する影響〕
35	NC-363 顆粒水和 〔日産化学〕	既知(3種): 0.84+60+9.6	○	○	◎	○	○	◎	△	寒地〜温暖地:○, +5〜/t ² L2.5L (一発処理剤) 〔暖地:水稻に対する影響〕

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
36	NC-365-1kg 粒 〔日産化学〕	既知(2種)+新規:4.3	◎	□	◎	○	○	○	○	全域:○, +5~/ ¹ ±2.5L (一発処理剤) 〔寒冷地北部:水稻に対する影響〕
37	NC-366-1kg 粒 〔日産化学〕	既知+新規:4.3	◎	○	◎	○	○	◎	○	全域:○, +5~/ ¹ ±2.5L (一発処理剤)
38	NSK-858 フロアブル 〔徳山曹達〕	未公開:15.4	○	○						寒地・寒冷地北部:○, +5~/ ¹ ±2.5L (一発処理剤) 〔水稻に対する影響, ヲ カに対する効果〕
39	NTN-831-1kg 粒 〔三井東圧化学〕	ナ ¹ ロ ¹ ニ ¹ ト ¹ :20 ブ ¹ ロ ¹ フ ¹ チ ¹ ト ¹ :10 メ ¹ エ ¹ ナ ¹ セ ¹ ト ¹ :10		◎		○		○		○, +5~/ ¹ ±2.5L (一発処理剤, 3kg粒剤と 同等)
40	RPJC-02 フロアブル 〔ロ-ヌ-フ-ラン油化〕	ホ ¹ サ ¹ シ ¹ ア ¹ ソ ¹ ン:6 ク ¹ ミ ¹ ロ ¹ ン(JC-940):24	□	○	○	□	○	□	△	全域:○, 植代後~4, +0~/ ¹ ±1.5L(/ ¹ ±1.5L他一 年生雑草, マ ¹ ハ ¹ イ, ホ ¹ ル ¹ イ) 〔暖地:移植後処理での 水稻への影響 温暖地 西部:移植後処理での 効果〕
41	RYH-102-1kg 粒 〔ロ-ヌ-フ-ラン油化〕	MY-100(未):0.8 既知(2種):0.36	◎	◎	◎	◎	□	○	○	全域:○, +5~/ ¹ ±2.5L (一発処理剤)
42	RYH-103 フロアブル 〔ロ-ヌ-フ-ラン油化〕	MY-100(未):1.2 既知(2種):19.7	◎	◎	◎	◎	◎	○	□	寒地~温暖地:○, +0~/ ¹ ±2.5L (一発処理剤) 〔暖地:+0処理での水稻 に対する影響〕
43	SB-522-1kg 粒 〔イス・デ・イ・エス〕	新規(未)		□		○	○		□	〔/ ¹ ±1に対する効果. 暖地:+0処理での水稻 に対する影響〕

No	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 [今後の課題点等]
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
44	SB-522 フロアブル [エス・ティ・イー・エス]	新規(未)		□		○	○		□	□ [ノビエに対する効果]
45	SB-523 フロアブル [エス・ティ・イー・エス]	新規(未)		○		○	○		◎	□
46	SB-524 フロアブル [エス・ティ・イー・エス]	新規(未)		○		□	○		□	□
47	SB-527 フロアブル [エス・ティ・イー・エス]	新規(未)+既知		◎		○	◎		□	□
48	SB-528 フロアブル [エス・ティ・イー・エス]	タイムロン:30 KPP-314:7.8	□	◎	○	○	○	□	△	寒地～温暖地:○, +0～ノビエ1.5L(ノビエ他一 年生雑草, マツハ・イ, ホタルイ, ミスガヤツリ) [暖地:水稻に対する影 響, コナギ, ホタルイなど効 果]
49	SW-HW-1kg 粒 [三共]	ピラゾレート:12 エトベンザニト(HW-52): 10 既知(2種):4.25	□	○		○		○	○	○, +0～ノビエ1.5L (ノビエ他一年生雑草, マツハ イ, ホタルイ, ウリカワ)
50	TH-913ADS ^① -1kg 粒 [武田薬品]	イマゾスルフロン:0.9 フレチクロール:4.5 タイムロン:15 ジメタメトリン:0.6	○	◎			○		○	○, +3～ノビエ2L (一発処理剤)
51	X-52-1kg 粒 [日本農薬]	クロトキシニル:21	○	△	□	□	○	△	□	□ [除草効果]
52	YH-551 フロアブル [八洲化学]	既知(3種):26	◎	○	○	◎			□	寒地～温暖地東部:○ +3～ノビエ2L(一発処理剤) [暖地:ホタルイに対する効 果]

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	四国	九州	
53	YH-561-1kg 粒 〔八洲化学〕	既知(4種):17.6	○	○	◎	◎			○	○, +5〜/t°±2.5L 〔寒冷地北部:ウリカ7に対する効果〕
54	YH-562 フロアフル 〔八洲化学〕	既知(3種):5+10+0.5	○	◎		○				寒地〜温暖地東部:○, +0〜/t°±1.5L(/t°±他一年生雑草, マツバイ, ヱタリイ)
55	DH-944 フロアフル 〔大日本インキ〕	ヒ°リフ°チカルフ°:9.5 タ°イムロン:28.5	○	□	○	○	○	○	△	寒地〜温暖地:○, +0〜/t°±1.5L(/t°±他一年生雑草, マツバイ, ヱタリイ) 〔暖地:除草効果〕
56	DH-945 フロアフル 〔大日本インキ〕	ヒ°リフ°チカルフ°:12	□	□	○	○	○	○	△	寒地〜温暖地:○, +0〜/t°±1.5L(/t°±他一年生雑草, マツバイ, ヱタリイ) 〔暖地:除草効果〕
57	SB-529-1kg 粒 〔エス・ディー・エス〕	タ°イムロン:15 KPP-314:2	□	△	□	○	□	□	△	□ 〔除草効果〕
58	NSK-850 粒 〔徳山曹達〕	テニクロール:0.9	□	○	○					寒地・寒冷地:○, 植代後〜4, +0〜/t°±1L (/t°±他一年生雑草)
59	CH-904K-1kg 粒 〔中外製薬〕	CH-900:2.1 DPX-84:0.3 DPX-47:0.06 DEH-112:1.5 タ°イムロン:4.5	□	◎						寒地・寒冷地北部:○, +5〜/t°±3L(一発処理剤)
60	CH-904D-1kg 粒 〔中外製薬〕	CH-900:2.1 DPX-84:0.51 DEH-112:1.5 タ°イムロン:4.5			◎	○	○	○	□	寒冷地南部以西:○, +5〜/t°±3L(一発処理剤)
61	SB-530-1kg 粒 〔エス・ディー・エス〕	タ°イムロン:21 テニクロール:2	□	◎	○	○	○	○	△	全域:○, +3〜/t°±1.5L (/t°±他一年生雑草, マツバイ, ヱタリイ) 〔暖地:タリイの効果〕
62	KUH-942-1kg 粒 〔クミアイ化学〕	フ°レチクロール:3 タ°イムロン:15	○	◎	□ ? ○	○	○	○	△	全域:○, +0〜/t°±1.5L (/t°±他一年生雑草, マツバイ, ヱタリイ)

第2表 平成6年度水稻作関係除草剤適2試験成績判定結果一覧

区 分	判 定	実	実・継	継	継?	中止
II-1. 移植前土壌混和処理			CG-113乳, CGM-717077°乳, KPP-2005④7077°乳, RPC-208乳, TCG-128乳	RPJC-027077°乳		
II-2. 移植前後土壌処理			CGM-717077°乳, KPP-2005④7077°乳, X-52-1kg粒, YH-3-1kg粒, KUH-942-1kg粒	MC-79-1kg粒, RPJC-027077°乳, SB-5287077°乳		
II-3. 移植後土壌処理			TSR-1217077°乳, S-28粒, TSM-6127077°乳, SB-530-1kg粒, SL-9707077°乳	DH-9437077°乳, S-580-1kg粒, TH-5627077°乳, DH-9447077°乳, DH-9457077°乳, SB-529-1kg粒		
II-4. 茎葉兼土壌処理			DEH-112-1kg粒, DEH・BAS乳(ME), HOK-05MN-1kg粒	HOK-05MN①-1kg粒, MKS-245水和		
II-5. 適用時期拡大			DEH-112乳(EW), DEH-112-1kg粒, DEH・BAS乳(ME), HOK-7505-1kg粒, NS-177粒	HOK-05MN-1kg粒, HOK-05MN①-1kg粒, MKS-245水和		
II-6-(1). クログワイ対象			DPX-84ND粒, DPX-84ND①粒, DPX-84SC①-1kg粒, NC-311HW粒	DEH・BAS乳(ME), DPX-47K-1kg粒, DPX-47MN-1kg粒, DPX-47ND-1kg粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47TD-1kg粒, DPX-84MN-1kg粒, DPX-84MN①-1kg粒, NC-311HW-1kg粒, TDS-8887077°乳, TDS-888①7077°乳		
II-6-(2). オモダカ対象			DPX-84ND粒, DPX-84ND①粒, DPX-84SC-1kg粒, DPX-84SC①粒, KUH-883-1kg粒, NC-311HW粒	DEH・BAS乳(ME), DPX-47MN-1kg粒, DPX-47ND-1kg粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47TD-1kg粒, DPX-84MN①-1kg粒, NC-311HW-1kg粒, TDS-8887077°乳, TDS-888①7077°乳		
II-6-(5). シズイ対象			DEH・BAS乳(ME), DPX-47CGD-1kg粒, DPX-47K-1kg粒, DPX-47MN-1kg粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47TD-1kg粒, DPX-84CG-1kg粒, DPX-84MN-1kg粒, DPX-84SC-1kg粒, DPX-84T-1kg粒, KUH-883-1kg粒, NC-311HW-1kg粒, NC-311SC①-1kg粒, NC-311T-1kg粒	TH-913ADS①粒, TH-913ADS①-1kg粒		

区 分	判 定	実	実・継	継	継?	中止
II-6-(5). シズイ対象 つづき			NC-329-1kg粒, <u>NSK-8557ロ 77°ル</u> , <u>TDS-8887ロ77°ル</u> , <u>TH- 913SN-1kg粒</u> , <u>TH-913ST7ロ 77°ル</u>			
II-6-(6). エゾノサヤヌ カグサ対象			<u>DEH・BAS乳(ME)</u> , <u>DPX-47K -1kg粒</u> , <u>DPX-47MN-1kg粒</u> , <u>DPX-47SC-1kg粒</u> , <u>DPX-47 TD-1kg粒</u> , <u>DPX-84CG-1kg 粒</u> , <u>DPX-84MN-1kg粒</u> , <u>DPX- 84T-1kg粒</u> , <u>KUH-883-1kg 粒</u> , <u>NC-311HW-1kg粒</u> , <u>NC- 311SCD-1kg粒</u> , <u>NC-311T- 1kg粒</u> , <u>NC-329-1kg粒</u> , <u>NSK -8557ロ77°ル</u> , <u>TH-913HSK- 1kg粒</u> , <u>TH-913SN-1kg粒</u> , <u>TH-913SSC粒</u> , <u>TH-913ST7ロ 77°ル</u> , <u>HSW-941-1kg粒</u>	<u>TDS-8887ロ77°ル</u> , <u>HSW-942 -1kg粒</u>		
II-6-(7). クサネム対象				NSK-8557ロ77°ル		
II-6-(8). コウキヤガラ 対象			<u>DEH・BAS乳(ME)</u> , <u>DPX-47 CGD-1kg粒</u> , <u>DPX-47MN-1kg 粒</u> , <u>DPX-47SC-1kg粒</u> , <u>DPX -47TD-1kg粒</u> , <u>DPX-84MN- 1kg粒</u> , <u>DPX-84MND-1kg粒</u> <u>DPX-84SC-1kg粒</u> , <u>DPX-84 SCD-1kg粒</u> , <u>DPX-84T-1kg 粒</u> , <u>DPX-84TD-1kg粒</u> , <u>NSK-8557ロ77°ル</u> , <u>TDS-888ロ 77°ル</u>	TH-913SN-1kg粒		
III-1. 湛水直播			<u>BAS-3510(Na)D液</u> , <u>DEH- 112-1kg粒</u> ,	SW-HW-1kg粒		
III-2. 乾田直播			<u>DEH-112乳(EW)</u> , <u>DEH・BAS 乳(ME)</u> , <u>KUH-883D-1kg粒</u> <u>KUH-911液</u>	HW-932乳		
IV. 畦畔雑草			Hoe-866-3H水和, KUH-913 液, MON-93A液, SC-224液, ULV-03液, ケリホサート液, ケリ ホサート水溶			
V. 耕起前			BGX-816水溶, Hoe-86610 液, MW-851液, SC-224液, <u>ULV-03液</u> , <u>SC-224液(不耕 起直播)</u> ,	MW-851液(不耕起移植), SC-224液(不耕起移植)		

区 分	判 定	実	実・継	継	継?	中止
V. 耕起前	つづき		YF-65①液(不耕起移植), ケリサート液(不耕起移植), ケリサート液(不耕起直播)			
VII-1. 初期一発処理剤			DPX-47CGD-1kg粒, DPX-47 K-1kg粒, DPX-84CG①-1kg 粒, HSW-941-1kg粒, KPP- 9327077°N, KPP-932-1kg 粒, NC-311CG粒, NC-311CG -1kg粒, NC-311CG①-1kg 粒, NC-311HW-1kg粒, NC- 311KP-1kg粒, NSK-850D- 1kg粒, NSK-850D①-1kg粒 NSK-8557077°N, NSK-855① 7077°N, PSS①D粒, SKH- 8602①粒, SL-498-1kg粒, SL-9707077°N, TDS-88870 77°N, TDS-888①7077°N, TH-913ADS①粒, TH-913 ADS①-1kg粒, TH-913HSK -1kg粒, TH-913ST7077°N, NC-351粒	CHA-9407077°N, HJ-941- 1kg粒, NC-311KP①顆粒水 和		
VII-2. 初・中期一発処 理剤			AC-014E-1kg粒, AGH-925 -1kg粒, CH-904粒, CH-904 K-1kg粒, CH-904①粒, CH- 906粒, CH-906①粒, CH- 906①-1kg粒, CH-907-1kg 粒, CH-908-1kg粒, DPX-47 K-1kg粒, DPX-47MN-1kg粒 DPX-47ND-1kg粒, DPX-47 SC粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47TD-1kg粒, DPX-84 MN-1kg粒, DPX-84MN①粒, DPX-84MN①-1kg粒, DPX- 84ND粒, DPX-84ND①粒, DPX-84SC-1kg粒, DPX-84 SC①-1kg粒, DPX-84TD① -1kg粒, KUH-883①粒, KUH- 883①-1kg粒, KUH-931- 1kg粒, KUH-936①-1kg粒, KUH-936B-1kg粒, KUH-936 ①C-1kg粒, KUH-936C-1kg 粒, NC-311DCD粒, NC-311 DCD-1kg粒, NC-311HW粒, NC-311HW-1kg粒, NC-311 SC①-1kg粒, NC-311T-1kg 粒, NC-329粒,	CH-904D-1kg粒, CH-94170 77°N, CH-941①7077°N, HJ-942-1kg粒, HJ-943- 1kg粒, HJ-944-1kg粒, HJ- 945-1kg粒, HJ-946-1kg粒 HSW-942-1kg粒, MK-243D- 1kg粒, MK-243D①-1kg粒, MK-243DS-1kg粒, NBA-941 -1kg粒, NBA-942a-1kg粒, NBA-942b-1kg粒, NBA-943 -1kg粒, NC-363顆粒水和, NC-365-1kg粒, NC-366- 1kg, RYH-102-1kg粒, RYH- 1037077°N		

区 分	判 定	実	実・継	継	継?	中止
VII-2.	初・中期一発処理剤 つづき		NC-329-1kg粒, NC-345-1kg粒, NC-355顆粒水和, NCH-903DEH-1kg粒, TH-913ADE-1kg粒, TH-913SN粒, TH-913SN-1kg粒, TH-913SSC粒, NH-9302-1kg粒			
VII-3-(1).	長期持続型一発処理剤		AC-014A粒, AC-014C-1kg粒	AC-014AⒶ粒		
VII-3-(2).	一年生持続型除草剤		CH-902-1kg粒	CHG-948-1kg粒, MSC-301-1kg粒		
VIII-1.	少量散布法		KUH-883Ⓐ-1kg粒, NC-311SCⒶ粒, SL-9707Ⓐ*ル			
VIII-2.	少量散布		TSR-1217Ⓐ*ル, NSK-850粒			

第3表 平成6年度水稲作除草剤ジャンボ剤適用性試験成績判定結果一覧

区 分	判 定	実	実・継	継	継?	中止
II-2.	移植前後土壌処理		CG-113, KPP-2005	RPJC-01		
II-3.	移植後土壌処理		AKD-7036			
II-5.	適用時期拡大		DEH-112			
II-6-(1).	クログワイ対象		JC-940			
II-6-(5).	シズイ対象		JC-940			
VII.	一発処理剤		NSK-850D, NSK-850DⒶ, SW-918Ⓐ, SW-918	CH-908, NC-353		
VII-3-(1).	長期持続型一発処理剤			AC-140, AC-014C		
VII-3-(2).	一年生持続型除草剤			AC-140Ⓐ		

注：1）本年度新規に使用基準を作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。

2）本年度は「継？」及び「中止」と判定された薬剤はなかった。

平成6年度水稻関係除草剤使用基準一覧表

Ⅱ-1 移植前土壌混和处理

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツバ	ネタリイ	ウリカワ	ミスギヤフリ	ヘラオモダナ	クロダワイ	オモダナ	ヒルシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅱ-1 1. CG-113 乳	土壌混和处理	北海道	○	○	○		○						移植時 (～4)	30～50 ml/a	○	○	○	○	2	混和時の水深 3～5cm 混和深 2～3cm
		東北	○	○	○		○								○	○	○	○		
		北陸	○	○	○		○	○							○	○	○	○		
		関東 東山	早	○	○		○								○	○	○	○		
		東海	普	○	○		○								○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○	○		○								○	○	○	○	1	
		普	○	○		○									○	○	○	○		
		四国	早	○	○		○								○	○	○	○		
		普	○	○		○									○	○	○	○		
		九州	早	○	○		○								○	○	○	○		
		普	○	○		○									●	●	○	○		

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツバ	ネタリイ	ウリカワ	ミスギヤフリ	ヘラオモダナ	クロダワイ	オモダナ	ヒルシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅱ-1 2. CGM-71 7077 ^乳	土壌混和处理	北海道	○	○	○	○		○					移植時 (～4)	50 ml/a	○	○	○	○	2	混和時の水深 3～5cm 混和深 2～3cm
		東北	○	○	○	○	○								○	○	○	○		
		北陸	○	○	○	○	○								○	○	○	○		
		関東 東山	早	○	○	○	○								○	○	○	○		
		東海	普	○	○	○	○								○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○	○	○	○	○							○	○	○	○	1	
		普	○	○	○	○	●								○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○	○	○	○	○							○	○	○	○	1	
		普	○	○	○	○	●								○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○	○	○	○	○							●	●	○	○	1	
		普	○	○	○	○	○								○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツバ	ネタリイ	ウリカワ	ミスギヤフリ	ヘラオモダナ	クロダワイ	オモダナ	ヒルシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅱ-1 3. KPP-2005 ^乳 7077 ^乳	土壌混和处理	北海道	●	●	●								移植時 (～4)	50 ml/a	●	●	●	●	2	混和時の水深 3～5cm 混和深 2～3cm
		東北	●	●	●		●								●	●	●	●	1.5	
		北陸	●	●	●		●								●	●	●	●	2	
		関東 東山	早	●	●		●								○	○	○	○	1	
		東海	普	●	●	●	●								○	○	○	○		
		近畿 中国	早	●	●	●	●								○	○	○	○	1.5	
		普	●	●	●	●	●								●	●	●	●	1	
		四国	早	●	●	●	●								●	●	●	●	1.5	
		普	●	●	●	●	●								●	●	●	●	1.5	
		九州	早	●	●	●	●								○	○	○	○	1	
		普	●	●	●	●	●								●	●	●	●	1	

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツバ	ネタリイ	ウリカワ	ミスギヤフリ	ヘラオモダナ	クロダワイ	オモダナ	ヒルシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅱ-1 4. RPC-208 乳	土壌混和处理	北海道	○	○	○		○						移植時 (～4)	50 ml/a	○	○	○	○	2	混和時の水深 3～5cm 混和深 2～3cm
		東北	○	○	○		○								○	○	○	○		
		北陸	○	○	○		○								○	○	○	○		
		関東 東山	早	○	○		○								○	○	○	○		
		東海	普	○	○		○								○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○	○		○								○	○	○	○	1	
		普	○	○		○									○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○	○		○								○	○	○	○	1	
		普	○	○		○									○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○	○		○								○	○	○	○	1	
		普	●	●	●		○								●	●	●	○		

II-1のつづき

II-1 5. RPJC-02 7077°R 「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミズカ・ヤフリ	ヘラオモダ・カ	クロガ・イ	オモダ・カ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用・製品	砂・土	土	土	土	土	減水深cm/d	使用上の注意
II-1 6. TCG-128 乳	北海道	○	○	○				○					植代時 (〜4)	50 ml/a	1.5 ○	○	○	○	○	2	混和時の水深 3~5cm 混和深 2~3cm
	東北	○	○	○			○														
	北陸	○	○	○			○														
	関東山	早	○	○	○		○														
	東海	普	○	○	○		○														
	近畿	早	○	○	○		○														
	中国	普	○	○	○		○														
	四国	早	○	○	○		○														
	九州	早	○	○	○		○														
		普	○	○																	

II-2 移植前後土壌処理

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミズカ・ヤフリ	ヘラオモダ・カ	クロガ・イ	オモダ・カ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用・製品	砂・土	土	土	土	土	減水深cm/d	使用上の注意
II-2 1. CGM-71 7077°R	北海道	○	1	○	○	始	○	始	○	始			+0~+5 (/ハ・エ・L)	50 ml/a	1.5 ●	○	○	○	○	2	田植同時 散布可能 (東北・ 関東〜 九州) 水口処理 可能 (全残)
	東北	○	1	○	○	始	○	始	●	始											
	北陸	○	1	○	○	始	○	始	○												
	関東山	早	○	1	○	○	始	○	始	●	始										
	東海	普	○	1	○	○	始	○	始	●	始										
	近畿	早	○	1	○	○	始	○	始	○	始										
	中国	普	○	1	○	○	始	○	始	●	始										
	四国	早	○	1	○	○	始	○	始	○	始										
	九州	早	○	1	○	○	始	○	始	●	始										
		普	○	1	○	○	始	○	始	○	始										

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カ・ヤ フリ	ヘラオモ ダ・カ	クロガ イ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類剥 離		処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減 水 深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-2 2. KPP-2005 7077°R	土壌処理	北海道	○	1	○	○	始		●	始					播代後〜4. +0〜+3 (/ハ・エ・L)	50 ml/a	1.5 ●	○	○	○	2	田植同時 散布可能 (東北・ 関東〜 九州)	
		東北	○	1	○	○	始	○	始	○	始												
		北陸	○	1	○	○	始	○	始														
		関東 東海	早	●	1	●	●	始	●	始													
			普	●	1	●	●	始	●	始													
		近畿 中国	早	●	始	●	●	始	●	始													
			普	●	始	●	●	始	●	始													
		四国	早	●	始	●	●	始	●	始													
			普	●	始	●	●	始	●	始													
		九州	早	●	始	●	●	始	●	始													
普	●		始	●	●	始	●	始															

II-2 3. MC-79-1kg 粒 「継」

II-2 4. RPJC-02 7077°R 「継」

II-2 5. SB-528 7077°R 「継」

II-2のつづき

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカリ	ミスガヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-2 6.X-52-1kg 粒	北海道		● 1	●									+0~+5(/t ⁺ 1L)	100 g/a	●	●	●	●	2	
	東北		●	●									+ 0				●	●	1.5	
	北陸		● 1	●									植代後~-4. + 0~+ 5 (/t ⁺ 1L)		●	●	●	●	2	
	関東 東山 東海	早 普																		
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカリ	ミスガヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-2 7.YH-3-1kg 粒	北海道												+0~+3	100 g/a			●	●	1	
	東北		● 始	●											●	●	●	●	2	
	北陸		● 始	●																
	関東 東山 東海	早 普	● 1	●			● 始						+0~+5 (/t ⁺ 1L)				●	●	1	
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカリ	ミスガヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-2 8.KUH-942-1kg 粒	北海道		● 1	●	● 始			● 始					植代後~-4. + 0~+ 5 (/t ⁺ 1L)	100 g/a	●	●	●	●	2	
	東北		● 1	●	● 始		● 始	● 始							●	●	●	●		
	北陸		● 1	●	● 始		● 始	● 始							●	●	●	●		
	関東 東山 東海	早 普	● 1	●	● 始		● 始								●	●	●	●		
	近畿 中国	早 普	● 1	●	● 始												●	●	1	
	四国	早 普	● 1	●	● 始												●	●		
	九州	早 普	● 1	●	● 始												●	●		

II-3 移植後土壌処理

II-3 1.DH-943 7077^g 粒 「継」

II-3 2.S-580-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカリ	ミスガヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3 3.TSR-121-7077 ^g 粒	北海道		○ 1.5	○	○ 始								+0~1 ⁺ 1.5L	50 ml/a	○	○	○	○	2	(33) 同時 田植可能 (東北・ 関東~ 九州) 水口処理 可能 (全境)
	東北		○ 1.5	○	○ 始										○	○	○	○		
	北陸		○ 1.5	○	○ 始										○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○ 1.5	○	○ 2										○	○	○	○		
	近畿 中国	早 普	○ 1.5	○	○ 始										○	○	○	○	1	
	四国	早 普	○ 1.5	○	○ 始										○	○	○	○	1.5	
	九州	早 普	○ 1.5	○	○ 始										○	○	○	○	1	

II-3のつづき

II-3 4.YH-562 7077^g 「継」II-3 5.DH-944 7077^g 「継」II-3 6.DH-945 7077^g 「継」

II-3 7.SB-529-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミム カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロク ワイ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤土	壤 土	埴 土	埴 土	水 減深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-3 8.S-28	粒	土壌処理	北海道	● 1	●									+ 0 ~ + 5 ($t \pm 1 L$)	300 g/a		●	●	●	2	(1) (3)	
			東北	● 1	●													●	●			
			北陸	● 1	●											●	●	●				
			関東	早	● 1	●											●	●	●	1		
			東海	普	○ 1	○											○	○	○	2		
			近畿	早																		
			中国	普	○ 1	○											○	○	○			
			四国	早																		
				普	○ 1	○											○	○	○			
			九州	早	○ 1	○											○	○	○	○	1	
				普	○ 1	○											○	○	○			

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロク ワイ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
II-3 9.TSM-612 7077 ^g 土壌処理		北海道																				
		東北	● 始	●	●									+ 0 ~ + 3	50 ml/a			●	●	2	初期剤とし て50ml/a 散布が可能	
		北陸	● 始	●	●											●	●	●	●			
		関東 東海	早														●	●	●			
	普		● 始	●	● 始											●	●	●	●			
		近畿 中国	早																			
	普		● 始	●	●												●	●	●	1		
		四国	早															●	●	●		
	普		● 始	●	●													●	●	●		
		九州	早																			
	普		● 始	●	●												●	●	●	●		

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハイ	ホタル	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロク ワイ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壤土	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	水深 cm/d	使用上の 注意			
Ⅱ-3 10.SB-530 -1kg 粒	土壌処理	北海道	● 1	●	● 始			● 始					+ 0 ~ + 5 ($t \pm 1L$)	100 g/a		●	●	●	●	2					
		東北	● 1	●	● 始		● 始	● 始							●	●	●								
		北陸	● 1	●	● 始		● 始								●	●	●	●							
		関東 東海	早	● 1	●	● 始		● 始								●	●	●	●						
			普	● 1	●	●		● 始								●	●	●	●						
		近畿 中国	早																						1
			普	● 1	●	● 始		● 始									●	●	●	●					
		四国	早																	●		●	●		
			普	● 1	●	● 始		● 始										●	●	●		●			
		九州	早														+ 3 ~ + 5 ($t \pm 1L$)								
普	● 1		●	● 始														●	●						

II-3のつづき

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ハラモ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 ・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-3 11. SL-970 7077 ^g 粒	北海道											+0~+5 (/t ² 1L)	50 ml/a						初期利として 50ml/a 散布が可能
	東北																		
	北陸																		
	関東 東山 東海	早 普	● 1	●	● 始										●	●	●	2	
	近畿 中国	早 普																	
	四国	早 普																	
	九州	早 普	● 1	●	● 始										●	●	●	1	

II-4 茎葉兼土壌処理

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ハラモ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離				処理時期	使用 ・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-4 1. DEH-112 -1kg 粒	茎葉土 ・ 塩処理	北海道	○ 3										/t ² 2 L ~ 3 L	100 g/a	● 1.5	○	○	○	○	2	5 cm 程度 の水深で 使用する (47)		
		東北	○ 3													○	○	○	○				
		北陸	○ 3													○	○	○	○				
		関東 東山 東海	早 普	○ 3 ○ 3												○	○	○	○				
		近畿 中国	早 普	● 3 ○ 3												○	○	○	1				
		四国	早 普	● 3 ○ 3												○	○	○	○				
		九州	早 普	○ 3 ○ 3												○	○	○	○				
																	○	○	○	○			
																	○	○	○	○			
																	○	○	○	○			

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカリ	ミズ カヤ フリ	ハラモ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 ・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
II-4 2. DEH-BAS 乳(ME)	茎葉を干し 堆処理	北海道	○ 5	○	○ 4	○ 4		○ 4					/t ² 2L~5L	100 ml/a	● 1.5	○	○	○	2	{6} {10} {11} {12} 使用直前 に希釈す る。		
		東北	○ 4	○	○ 3	● 4	● 5	● 4					/t ² 3 L ~ 4 L	散布 10 t/a	○	●	○	○				
		北陸	○ 4	○	○ *	○ 5	○ 5								○	○	○	○				
		関東 東山 東海	早	○ 3	○	○ 3	○ 3	○ 3							/t ² 2 L ~ 3 L	○	○	○	○			
			普	○ 3	○	○ 3	○ 3	○ 3								○	○	○	○			
		近 畿 中国	早	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4							/t ² 2.5 L ~ 4.5 L		○	○	○		○	1.5
			普	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4									○	○	○		○	
		四国	早	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4									○	○	○		○	
			普	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4									○	○	○		○	
		九州	早	● 5	●	● *		● 5									/t ² 2 L ~ 5 L		●		●	●
普	○ 5		○	○ *	○ 5	○ 5							○	○	○		○		1.5			

*花茎抽出始

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ハラモ タカ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 ・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-4 3. HOK-05MN -1kg 粒	北海道											+10~+14, /t ² 2 L~3 L	100 g/a						(8)
	東北																		
	北陸																		
	関東 東山 東海	早 普	● 3	●	● 3	● 3	● 3								●	●	●		
	近畿 中国	早 普																	
	四国	早 普																	
	九州	早 普																	

II-4のつづき

II-4 4.HOK-05MND-1kg 粒 「継」

II-4 5.MKS-245 水和 「継」

II-5 適用時期拡大

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ササ ユリ	スズ リ	ハナ タ	クロ タ	モ タ	ヒメ シ	藻類 表層	処理時期	使用 量 製品	砂 土 1.5	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 1. DEH-112 乳(EW)	北海道	早	○ 5								+25~+40 (/t ² x2L~5L)	10 ml/a	●	○	○	○	2	(21)
	東北	早	○ 5								+25~+40 (/t ² x3L~5L)	散 布 量 7~10 l/a 追加	○	○	○	○		使用直前 に希釈す る。
	北陸	早	○ 5										○	○	○	○		
	関東 東山	早	○ 5										○	○	○	○		
	近畿 中国	早	● 5										○	○	○	○	1	
		普	○ 4.5								+25~+40 (/t ² x2.5L~4.5L)		○	○	○	○	1.5	
		早	● 5								+25~+40 (/t ² x3L~5L)		○	○	○	○	1	
		普	○ 4.5								+25~+40 (/t ² x2.5L~4.5L)		○	○	○	○	1.5	
	九州	早	● 5								+25~+50 (/t ² x2L~5L)		○	○	○	○	2	
		普	○ 5										○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ササ ユリ	スズ リ	ハナ タ	クロ タ	モ タ	ヒメ シ	藻類 表層	処理時期	使用 量 製品	砂 土 1.5	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 2. DEH-112 -1kg 粒	北海道	早	● 3								+15~+30 (/t ² x2L~3L)	100 g/a	●	●	●	●	2	(21) (47)
	東北	早	● 3										●	●	●	●		
	北陸	早	● 3										●	●	●	●		
	関東 東山	早	● 3										●	●	●	●		
	近畿 中国	早	● 3										●	●	●	●	1.5	
		普	● 3										●	●	●	●		
		早	● 3										●	●	●	●		
	四国	早	● 3										●	●	●	●		
		普	● 3										●	●	●	●		
	九州	早	● 3										●	●	●	●	2	
		普	● 3										●	●	●	●		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ササ ユリ	スズ リ	ハナ タ	クロ タ	モ タ	ヒメ シ	藻類 表層	処理時期	使用 量 製品	砂 土 1.5	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 3. DEH-BAS 乳(WE)	北海道	早	○ 5	○	○ 4	○ 4					●*** +25~+40 (/t ² x2L~5L)	100 ml/a	○	○	○	○	2	(6) (10) (11) (12) (21) (36) (40)
	東北	早	○ 5	○	○ 3		● 5	● 4			●*** +25~+40 (/t ² x3L~5L)	散 布 量 7~10 l/a	○	○	○	○		使用直前 に希釈す る。
	北陸	早	○ 5	○	○ *	○ 5	○ 5	● 4					○	○	○	○		
	関東 東山	早	○ 5	○	○ *	○ 5	○ 5				+25~+50 (/t ² x3L~5L)		○	○	○	○		
		普	○ 5	○	○ *	○ 5	○ 5						○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4				+25~+40 (/t ² x2.5L~4.5L)		○	○	○	○	1	
		普	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4						○	○	○	○	1.5	
		早	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4						○	○	○	○	1	
		普	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4						○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○ 5	○	○ *	○ 5	○ 5				+25~+50 (/t ² x2L~5L)		○	○	○	○	2	
		普	○ 5	○	○ *	○ 5	○ 5						○	○	○	○		

* : 花茎抽出始

** : シスイ 草丈5cm程度 , コササ 発生盛期

*** : シノササ 発生始~2L

II-5 4.HOK-05MN-1kg 粒 「継」

II-5 5.HOK-05MND-1kg 粒 「継」

[illegible][illegible]

Π-6-(1) 15. TDS-888① フロア「継」

II-6-(2) 1. DEH・BAS 乳(ME) 「継」

II-6-(2) 2. DPX-47MN-1kg 粒 「繼」

II-6-(2) 3. DPX-47ND-1kg 粒 「継」

Π -6-(2) 4. DPX-47SC-1kg 粒 「継」

II-6-(2) 5. DPX-47TD-1kg 粒 「継」

Π-6-(2) 6. DPX-84MNL-1kg 粒 「繼」

II-6-(2) 7. DPX-84ND 粒 「実・継」 VII-2 No. 23 参照

Π-6-(2) 8. DPX-84NDI 粒 [実・継] VII-2 No. 24 参照

II-6-(2) 9. DPX-84SC-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 25 参照

II-6-(2) 9. DPX-84SCD-1kg 粒 「寒・継」 VII-2 No. 26 参照

Ⅱ-6-(2) 11. KUH-883-1kg 粒 「実・継」 (前年通り) VII-2の使用基準に併用

[illegible]

II-6-(2) 12. NC-311HW 粒 「実・継」 VII-2 No. 50 参照

Π-6-(2) 13. NC-311HW-1kg 粒 「継」

Π -6-(2) 14. TDS-888 フロアブル 「継」

II-6-(2) 15. TDS-888① 7077^hル 「継」

Π-6-(5) 1. DEH·BAS 乳(ME) 「実・継」 Π-5 No. 3 参照

II-6-(5) 2. DPX-47CGD-1kg 粒 「実・継」 VII-1 No. 2 参照

Ⅱ-6-(5) 3. DPX-47K-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 14 参照

Ⅱ-6-(5) 3. DPX-47K-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 14 参照

II-6-(5) 4. DPX-47MN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 15 参照

II-6-(5) 5. DPX-47SC-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.18 参照

II-6-(5) 6. DPX-47TD-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 19 参照

II-6-(5)のつづき

II-6-(5) 7. DPX-84CG-1kg 粒 「実・継」 (前年通り) VII-1の使用基準に併用

	処理 法	地域名	作 期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	ウリタリ	ミズ カヤ クリ	ハラモ ダナ	クロダ ナ	モダナ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 5	塩 土 5	塩 土 5	塩 土 5	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 DPX-84CG-1kg 粒	農業 薬	北海道	○	2	○	○	2	○	2	○	2	○	発生 期	○	●*	+5~ /t・x2L	100 g/a	○	○	○	2	(26) (28) (38) (40) (42)
II-6-(5) II-6-(6) II-6-(8) を併用	薬 理 理	東北	○	2	○	○	2	○	2	○	2	○	発生 期	○	○**	*:170/サヤヌカサ 2L **: 270/サヤヌカサ 2L		○	○	○		
		北陸																				
		関東 東海	早 普																			
		近畿 中国	早 普																			
		四国	早 普																			
		九州	早 普																			

II-6-(5) 8. DPX-84MN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.20 参照

II-6-(5) 9. DPX-84SC-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.25 参照

II-6-(5) 10. DPX-84T-1kg 粒 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

	処理 法	地域名	作 期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	ウリタリ	ミズ カヤ クリ	ハラモ ダナ	クロダ ナ	モダナ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 5	塩 土 5	塩 土 5	塩 土 5	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 DPX-84T-1kg 粒	農業 薬	北海道	○	2.5	○	○	2	○	2	○	2	○	発生 期	○	○*	+5~+20 (/t・x2.5L) +5~/t・x2.5L	100 g/a	○	○	○	2	(26) (28) (36) (38) (42)
II-6-(5) II-6-(6) II-6-(8) を併用	薬 理 理	東北	○	2.5	○	○	2	○	2	○	2	○	発生 期	○	●0**	*:170/サヤヌカサ 2L **: 270/サヤヌカサ 2L		○	○	○		
		北陸																				
		関東 東海	早 普																			
		近畿 中国	早 普																			
		四国	早 普																			
		九州	早 普																			

II-6-(5) 11. KUH-883-1kg 粒 「実・継」 (前年通り) II-6-(2) No.11 参照

II-6-(5) 12. NC-311HW-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.51 参照

II-6-(5) 13. NC-311SO-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.52 参照

II-6-(5) 14. NC-311T-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.53 参照

II-6-(5) 15. NC-329-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.55 参照

II-6-(5) 16. NSK-855 7077°ル 「実・継」 VII-1 No.17 参照

II-6-(5) 17. TDS-888 7077°ル 「実・継」 VII-1 No.23 参照

II-6-(5) 18a. TH-913ADS-1kg 粒 「継」

II-6-(5) 18b. TH-913ADS-1kg 粒 「継」

II-6-(5) 19. TH-913SN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.67 参照

II-6-(5) 20. TH-913ST 7077°ル 「実・継」 VII-1 No.28 参照

II-6-(6) エゾノサヤヌカサ対象

II-6-(6) 1. DEH-BAS 乳(ME) 「実・継」 II-5 No.3 参照

II-6-(6) 2. DPX-47K-1kg 粒 「実・継」 VII-1 No.3 参照

II-6-(6) 3. DPX-47MN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.15 参照

II-6-(6) 4. DPX-47SC-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.18 参照

II-6-(6) 5. DPX-47TD-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.19 参照

II-6-(6) 6. DPX-84CG-1kg 粒 「実・継」 II-6-(5) No.7 参照

Ⅱ-6-(6)のつづき

Ⅱ-6-(6)	7.DPX-84WN-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 20	参照
Ⅱ-6-(6)	8.DPX-84T-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) Ⅱ-6-(5) No. 10	参照
Ⅱ-6-(6)	9.KUH-883-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) Ⅱ-6-(2) No. 10	参照
Ⅱ-6-(6)	10.NC-311HW-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 51	参照
Ⅱ-6-(6)	11.NC-311SC ^① -1kg	粒	「実・継」	(前年通り) VII-2 No. 52	参照
Ⅱ-6-(6)	12.NC-311T-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) VII-2 No. 53	参照
Ⅱ-6-(6)	13.NC-329-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) VII-2 No. 55	参照
Ⅱ-6-(6)	14.NSK-855	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 17	参照
Ⅱ-6-(6)	15.TDS-888	7077 [°] ル	「継」		
Ⅱ-6-(6)	16.TH-913HSK-1kg	粒	「実・継」	VII-1 No. 27	参照
Ⅱ-6-(6)	17.TH-913SN-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 67	参照
Ⅱ-6-(6)	18.TH-913SSC	粒	「実・継」	VII-2 No. 68	参照
Ⅱ-6-(6)	19.TH-913ST	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 28	参照
Ⅱ-6-(6)	20.HSW-941-1kg	粒	「実・継」	VII-1 No. 6	参照
Ⅱ-6-(6)	21.HSW-942-1kg	粒	「継」		
Ⅱ-6-(7)	クサネム対象				
Ⅱ-6-(7)	1.NSK-855	7077 [°] ル	「継」		
Ⅱ-6-(8)	コウキヤガラ対象				
Ⅱ-6-(8)	1.DEH-BAS	乳(WE)	「実・継」	Ⅱ-5 No. 3	参照
Ⅱ-6-(8)	2.DPX-47CGD-1kg	粒	「実・継」	VII-1 No. 2	参照
Ⅱ-6-(8)	3.DPX-47WN-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 15	参照
Ⅱ-6-(8)	4.DPX-47SC-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 18	参照
Ⅱ-6-(8)	5.DPX-47TD-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 19	参照
Ⅱ-6-(8)	6.DPX-84WN-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 20	参照
Ⅱ-6-(8)	7.DPX-84WN ^① -1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 22	参照
Ⅱ-6-(8)	8.DPX-84SC-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 25	参照
Ⅱ-6-(8)	9.DPX-84SC ^① -1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 26	参照
Ⅱ-6-(8)	10.DPX-84T-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) Ⅱ-6-(5) No. 10	参照
Ⅱ-6-(8)	11.DPX-84TD ^① -1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 27	参照
Ⅱ-6-(8)	12.NSK-855	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 17	参照
Ⅱ-6-(8)	13.TDS-888 ^①	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 24	参照
Ⅱ-6-(8)	14.TH-913SN-1kg	粒	「継」		

Ⅲ-1 落水直播

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ	ヘラオ タ	クロ ワ	オモ タ	ヒルム シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ-1 1. BAS-3510 (Na) L 液	北海道			●	● 4	● 4		● 4					+ 35 ~ 50	50 ~ 70 ml/a	●	●	●	●		(10) (11) (12) (21)
	東北			●	● 4										●	●	●	●		
	北陸			●	● 4										●	●	●	●		
	関東 東山 東海	早 普		●	● 4	● 4									●	●	●	●		
	近畿 中国	早 普		●	● 4	● 4	● 4		● *							●	●	●		
	四国	早 普		●	● 4	● 4	● 4		● *							●	●	●		
	九州	早 普		●	● 4	● 4	● 4								●	●	●	●		

* : 発生盛期 15 ~ 30 cm

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ	ヘラオ タ	クロ ワ	オモ タ	ヒルム シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ-1 2. DEH-112 -1kg 粒	北海道		○ 3										1/2 ~ 2 L ~ 3 L	100 g/a		○	○	○	2	5 cm 程度 の水突で 使用する (47)
	東北		○ 3														○	○	1	
	北陸		○ 4										1/2 ~ 2 L ~ 4 L	100 ~ 150 g/a				○	○	
	関東 東山 東海	早 普	○ 4											(3.5 L 以上 の時は 150 g/a)	○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早 普	○ 4													○	○	○	1	
	四国	早 普	○ 4													○	○	○		
	九州	早 普	○ 3										1/2 ~ 2 L ~ 3 L	100 g/a	○	○	○	○		

Ⅲ-1 3. SW-BW-1kg 粒 「継」

Ⅲ-2 乾田直播

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ	ヘラオ タ	クロ ワ	オモ タ	ヒルム シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ-2 1. DEH-112 乳 (EW)	北海道												10 ml/a (86 g/a ~ 10 g/a 継続 期)				○	○		使用直前 に希釈す る。
	東北		○ 5										1/2 ~ 3 L (入水前)				○	○		
	北陸		○ 5														○	○		
	関東 東山 東海	早 普																		
	近畿 中国	早 普	○ 5										1/2 ~ 2 L (入水前)				○	○	○	
	四国	早 普	○ 5														○	○	○	
	九州	早 普	● 3										1/2 ~ 2 L (入水前)					●		

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ	ヘラオ タ	クロ ワ	オモ タ	ヒルム シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ-2 2. DEH-BAS 乳 (ME)	北海道												100 ml/a (86 g/a ~ 10 g/a)				○	○		使用直前 に希釈す る。
	東北		○ 4.5	●									1/2 ~ 3 L ~ 4.5 L (入水前)				○	○		
	北陸		○ 4	●									1/2 ~ 3 L ~ 4 L (入水前)				○	○		
	関東 東山 東海	早 普																		
	近畿 中国	早 普	○ 4.5	○			○						1/2 ~ 2 L (入水前)				○	○	○	
	四国	早 普	○ 4.5	○			○										○	○	○	
	九州	早 普	● 3	●									1/2 ~ 2 L (入水前)					●		

Ⅲ-2のつづき

Ⅲ-2 3. BW-932 乳 「継」

処理法	地域名	作期	一年広葉マツハイ										処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水cm/d	使用上の注意
			ハビエ	ミズマクリ	ウリカ	ミズマクリ	ハラオモタ	クログワイ	オモタ	ヒルムシロ	藻類剥離									
Ⅲ-2 4. KUH-883D -1kg 粒	北海道											入水後 3 日 ～/ト ±2.5 L	100 g/a						2	水持ちの安定 した後に使用 する
	東北																			
	北陸																			
	関東・東山 東海	早 普																		
	近畿・中国	早 普	○2.5	○	○2											○	○	○		
	四国	早 普	○2.5	○	○2											○	○	○		
	九州	早 普	●2.5	●														●		

処理法	地域名	作期	1年 広葉	ネムリ	クリカ	ミス ガリ	ヘリ モタ	クロ グ	オモ グ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・製 品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ-2 5. KUH-911 液	北海道											/ト 13L～5L (入水前)	10～ 20 ml/a						処理後黄化 症状がみら れる場合が ある
	東北	●5	●													●	●		
	北陸																		
	関東・東山 東海	早 普																	
	近畿・中国	早 普	●5	●												●	●	●	
	四国	早 普	●5	●												●	●	●	
	九州	早 普																	

Ⅳ 畦畔雑草

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

処理法	地域名	※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 1. Hoe-866-3B 水和	北海道						
	東北	○	全草種	雑草生育期 (草丈30cm以下)	50～75g/a	全土壌	{23}
	北陸	○					{24}
	関東・東山・東海	○					
	近畿・中国	○					
	四国	○					
	九州	○					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

処理法	地域名	※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 2. KUH-913 液	北海道						
	東北	●	全草種 (草種により効果の変 動がある)	草刈り後10～20日 の雑草再生期 (6～7月)	40～50ml/a (10 0/a)	全土壌	イネ科主体の群落で使 用する(東北、北陸)
	北陸	●					
	関東・東山・東海	●		雑草生育初期 (草丈10cm程度)	30～50ml/a (10 0/a)*		*約45日の間隔で40+40 ml/aの体系で雑草期間 を延長(関東～東海)
	近畿・中国	●					{24}
	四国	●					
	九州						

IVのつづき

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地域名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 3. MON-93A 液	茎葉処理	北海道	全草種 (スギナを除く)	雑草生育期	25~50 ml/a (10l/a) (東北は、50ml/a) 少量散布：希釈水量2.5l/a でも有効。専用の散布ノズルを用いる。 (北海道、関東~東海)	全土壌	(23) (24)
		東北					
		北陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四国					
		九州					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地域名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 4. SC-224 液	茎葉処理	北海道	全草種(スギナを除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	20~40ml/a(10l/a) 少量散布：10倍液500~600ml/aでも有効。専用の散布ノズルを用いる。 (東北、九州は10倍液400ml/a拡大可能)	全土壌	(23) (24)
		東北					
		北陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四国					
		九州					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地域名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 5. ULV-03 液	茎葉処理	北海道	全草種(スギナを除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	原液散布： 300~500ml/a 専用の散布機を用いる	全土壌	(23) (24)
		東北					
		北陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四国					
		九州					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地域名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 6. グリネート 液	茎葉処理	北海道	全草種(スギナを除く)	雑草生育期~積雪期	一年生：25~50ml/a (10l/a) 多年生：75~100ml/a (10l/a) 少量散布： 25ml/aでは希釈水量2.5l/a でも有効。 専用の散布機を用いる。 10倍液500~600ml/a(東北では400~500ml/a)でも有効。 専用の散布ノズルを用いる。	全土壌	(23) (24)
		東北		雑草生育期			
		北陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四国					
		九州					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地域名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 7. グリネート 水溶液	茎葉処理	北海道	全草種	雑草生育期	30~50g/a(10l/a) 少量散布： 希釈水量2.5l/aでも有効 専用の散布機を用いる	全土壌	(23) (24)
		東北					
		北陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四国					
		九州			50~75g/a(10l/a) 少量散布： 希釈水量2.5l/aでも有効 専用の散布機を用いる		

V 耕起前

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

従来の使用量 40~60g/a(10t/a)

		地 域 名 ※		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 1. BGX-816 水溶	茎葉処理	北海道		一年生雑草	雑草生育期 耕起前10日以前	25～50g/a(10l/a)*	全土壌	(25) *少量散布: 希釈水量2.5l/a でも有効。専用の 散布ノズルを用いる。 (東北・北陸・ 関東～東海)
		東 北	○					
		北 陸	○					
		関東・東山・東海	○					
		近畿・中国	○					
		四 国	○					
九 州	○	雑草生育期 耕起前10日以前						

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 2. Hoe-86610 液	業者処理	北海道		一年生雑草	雑草生育期 耕起前20～10日	40～75ml/a(10t/a) 25ml/a(2.5t/a)も有効 但し専用の散布ノズルを用いる	全土壌	(25)
		東北	○					
		北 陸	○					
		関東・東山・東海	○					
		近畿・中国	○					
		四 国	○					
		九 州	○					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意		
V 3. MW-851 液	葉面処理	北海道	一年生雑草	雑草生育期 耕起前 10 日以前	50～75 ml/a(10t/a)*	全土壌	(25) *少量散布: 希釈水量2.5ℓ/a でも有効。専用の 散布ノズルを用いる。 (北陸、関東～東海、 九州)		
		東北			25～50ml/a(10t/a)*				
		北 陸		雑草生育期 耕起前15日以前	50～75 ml/a(10t/a)				
		関東・東山・東海							
		近畿・中国							
		四 国							
		九 州		雑草生育期 耕起前 20 日以前					

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Y 4. SC-224 液	薬害処理	北海道	一年生雑草	雑草生育期 耕起前 10 日 以 前	6 0 ～ 7 5 ml/a(2.5t/a)	全土壌	(2 5) *希釈水量2.5ℓ/a でも有効。 専用の散布ノズル を用いる。 (関東～東海、九州)
		東 北					
		北 陸		●			
		関東・東山・東海		●			
		近畿・中国		○			
		四 国		○			
		九 州		○			
					4 0 ～ 7 5 ml/a(10ℓ/a)*		
			雑草生育期 耕起前 4 0 ～ 2 0 日				

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

	処理法	地 域 名 ※		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Y 5. ULV-03 液	葉面処理	北海道		一年生雑草	雑草生育期 耕起前7日まで	400～500ml/a 原液散布：専用の散布機を用いる	全土壌	(25)
		東 北	●					
		北 陸	●					
		関東・東山・東海	●					
		近畿・中国	●					
		四 国	●					
		九 州						

不耕起栽培(移植) 6. MW-851 液 「継」

不耕起栽培(移植) 7. SC-224 液 「継」

不耕起栽培（直播）

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

処理法	地域名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
8.SC-224 液 茎葉処理	北海道	一年生雑草	雑草生育期 播種前7日～播種直後	40ml/a (10ℓ/a)	全土壌	(25)
	東北					
	北陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四国					
	九州	●				

不耕起栽培（移植）

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

処理法	地域名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
9.YF-65D 液 茎葉処理	北海道	一年生雑草	灌水前10～5日	100ml/a (40ℓ/a)	全土壌	(25)
	東北					
	北陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四国					
	九州					

不耕起栽培（移植）

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

処理法	地域名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
10.ケリナート 液 茎葉処理	北海道	移植前全雑草	灌水前30～5日	50ml/a(5ℓ/a)*	全土壌	(25) *希釈水量2.5ℓ/a でも有効 専用の散布ノズル を用いる (東北、関東～東海)
	東北					
	北陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四国					
	九州					

不耕起栽培（直播）

地域名欄 ※の○は過年度実用化判定あり ●は本年度新たに実用化判定

処理法	地域名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
11.ケリナート 液 茎葉処理	北海道	播種前全雑草	雑草生育期 播種前30～5日	50ml/a(5ℓ/a)	全土壌	(25)
	東北					
	北陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四国					
	九州	●	雑草生育期 播種前10日～播種直後	50ml/a(2.5ℓ/a)専用の散布ノズルを用いる 50ml/a(5ℓ/a) 希釈水量2.5ℓ/aでも有効 専用の散布ノズルを用いる (九州)		

VII-1 初期一発処理剤

VII-1 1. CHA-940 プロアール 「継」

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラ タカ カ	クロ ク カ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-1 2. DPX-47CGD -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(8) を併用	北海道	早	○1.5	○	○2	○2	○2			○発生 ○前	○再生 ○前	+3~ /t ² 1.5L	100 g/a	●	○	○	2	(28)
	東北	早	○1.5	○	○2		○2			○発生 ○前	○再生 ○前	*:シソ 発生後~1.5cm		●	○	○	1	(34)
	北陸	早	○1.5	○	○2	○2	○2			○発生 ○前	○再生 ○前			●	○	○	2	(40)
	関東 東山 東海	早	○1.5	○	○始	○始	○始			●発生 ○前	○再生 ○前			○	○	○		
	近畿 中国	早	●1.5	●	●始	●始	●始			●発生 ●前	●再生 ●前			○	○	○		
		普	○1.5	○	○2	○2	○2			○発生 ○前	○再生 ○前			●	○	○		
		早	●1.5	●	●始	●始	●始			●発生 ●前	●再生 ●前			○	○	○		
		普	●1.5	●	●始	●始	●始			●発生 ●前	●再生 ●前			○	○	○	1	
	四国	早	●1.5	●	●始	●始	●始			●発生 ●前	●再生 ●前			○	○	○	2	
		普	●1.5	●	●始	●始	●始			●発生 ●前	●再生 ●前			○	○	○	1	
		早	●1.5	●	●始	●始	●始			●発生 ●前	●再生 ●前			○	○	○	2	
		普	●1.5	●	●始	●始	●始			●発生 ●前	●再生 ●前			○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラ タカ カ	クロ ク カ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-1 3. DPX-47K -1kg 粒 II-6-(6) を併用	北海道	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生 ○前	○再生 ○前	+5~ /t ² 2L	100 g/a	●	○	○	2	(28)
	東北	早								○発生 ○前	○再生 ○前	*:シソ 発生後~2L						
	北陸	早								○発生 ○前	○再生 ○前							
	関東 東山 東海	早								○発生 ○前	○再生 ○前							
	近畿 中国	早								○発生 ○前	○再生 ○前							
		普								○発生 ○前	○再生 ○前							
		早								○発生 ○前	○再生 ○前							
		普								○発生 ○前	○再生 ○前							
	四国	早								○発生 ○前	○再生 ○前							
		普								○発生 ○前	○再生 ○前							
		早								○発生 ○前	○再生 ○前							
		普								○発生 ○前	○再生 ○前							

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラ タカ カ	クロ ク カ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-1 4. DPX-84CGD -1kg 粒	北海道	早								○発生 ○前	○再生 ○前	*北陸の砂 土は1.5L以降	100 g/a	○	○	○	2	(26)
	東北	早								○発生 ○前	○再生 ○前			○	○	○		(28)
	北陸	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○始	○発生 ○前	○再生 ○前	+5~ /t ² 2L		○	○	○	2	(34)
	関東 東山 東海	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生 ○前	○再生 ○前			○	○	○		(38)
	近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生 ○前	○再生 ○前			○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2			○発生 ○前	○再生 ○前			○	○	○	1	
		早	○2	○	○2	○2	○2			○発生 ○前	○再生 ○前			○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2			○発生 ○前	○再生 ○前			○	○	○		
	四国	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生 ○前	○再生 ○前			○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2			○発生 ○前	○再生 ○前			○	○	○		
		早	○2	○	○2	○2	○2			○発生 ○前	○再生 ○前			○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2			○発生 ○前	○再生 ○前			○	○	○		

VII-1 5. HJ-941-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ミズ カヤ フリ	ヘラ タカ カ	クロ ク カ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-1 6. HSW-941 -1kg 粒 II-6-(6) を併用	北海道	早	●2	●	●2	●2	●2			●発生 ●前	●再生 ●前	+5~/t ² 2L	100 g/a	●	●	●	2	
	東北	早								○発生 ○前	○再生 ○前	*:シソ 発生後~2L						
	北陸	早								○発生 ○前	○再生 ○前							
	関東 東山 東海	早								○発生 ○前	○再生 ○前							
	近畿 中国	早								○発生 ○前	○再生 ○前							
		普								○発生 ○前	○再生 ○前							
		早								○発生 ○前	○再生 ○前							
		普								○発生 ○前	○再生 ○前							
	四国	早								○発生 ○前	○再生 ○前							
		普								○発生 ○前	○再生 ○前							
		早								○発生 ○前	○再生 ○前							
		普								○発生 ○前	○再生 ○前							

VII-1のつづき

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロイ	クリカ	ミズ ヤ フリ	ヘラ モ タ	クロ グ ワ	オモ ガ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量 g/a	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 7. KPP-932 7077 ^{kg} 粒	北海道	早	●1.5	●	●2	●2		●2			●発生	●前	●再生 前	+0~1.5L	50	●	●	●	●	2	均一散布
	東北	早	●1.5	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●再生 前				●	●	●	1	田植同時 散布可能 (東北、 関東~九州)
	北陸	早	●1.5	●	●2	●2	●2	●2					●再生 前			●	●	●	●	2	
	関東 東山 東海	早	●1.5	●	●2	●	●始				●発生	●前	●再生 前				●	●	●		
	普	●1.5	●	●2	●	●始	●2				●発生	●前	●再生 前				●	●	●		
	近畿 中国	早	●1.5	●	●	●始	●始	●始			●発生	●前	●再生 前				●	●	●	1	(28) (34)
	普	●1.5	●	●	●始	●始	●始				●発生	●前	●再生 前				●	●	●	1.5	
	四国	早	●1.5	●	●	●始	●始	●始			●発生	●前	●再生 前				●	●	●	1	
	普	●1.5	●	●	●始	●始	●始				●発生	●前	●再生 前				●	●	●	1.5	
	九州	早	●1.5	●	●2		●2				●発生						●	●	●	1	
	普	●1.5	●	●2		●2					●発生						●	●	●		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロイ	クリカ	ミズ ヤ フリ	ヘラ モ タ	クロ グ ワ	オモ ガ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量 g/a	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 8. KPP-932 -1kg 粒	北海道	早	●1.5	●	●2	●2		●2			●発生	●前	●再生 前	+0~1.5L	100	●	●	●	●	2	田植同時 散布可能 (東北、 関東~九州)
	東北	早	●1.5	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●再生 前				●	●	●	1	
	北陸	早	●1.5	●	●2	●2	●2	●2					●再生 前			●	●	●	●	2	
	関東 東山 東海	早	●1.5	●	●2	●	●始				●発生	●前	●再生 前				●	●	●		
	普	●1.5	●	●2	●	●始	●2				●発生	●前	●再生 前				●	●	●		
	近畿 中国	早	●1.5	●	●	●始	●始	●始			●発生	●前	●再生 前				●	●	●	1	(28) (34)
	普	●1.5	●	●	●始	●始	●始				●発生	●前	●再生 前				●	●	●	1.5	
	四国	早	●1.5	●	●	●始	●始	●始			●発生	●前	●再生 前				●	●	●	1	
	普	●1.5	●	●	●始	●始	●始				●発生	●前	●再生 前				●	●	●	1.5	
	九州	早	●1.5	●	●2		●2				●発生						●	●	●	1	
	普	●1.5	●	●2		●2					●発生						●	●	●		

	処理法	地域名	作期	ハビエ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロイ	クリカ	ミズ ヤ フリ	ヘラ モ タ	クロ グ ワ	オモ ガ	ヒル シ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量 g/a	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
VII-1 9. NC-311CG 粒	土壌肥溜剤	北海道	早	○2	○	○2	○2		○2			○	○	セリ	再 生 前 ～ 2	300 g/a	1.5	○	○	○	2	(28) (38) (38) (40) (44) (44)			
		東北	早	○2	○	○*	○2	○2	○2	○始	○始	○	○	○	再 生 前 ～ 2		+	0	ハビエ2L	○	○		○	○	
		北陸	早	○2	○	○*	○2	○2	○2	○2	○2		○	○	再 生 前 ～ 2		+	0	ハビエ2L	○	○		○	○	
		関東 東山 東海	早	○2	○	○*	○2	○2	○2	○2			○	○	再 生 前 ～ 2		+	0	ハビエ2L	○	○		○	○	
		普	○2	○	○*	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○	○	○	再 生 前 ～ 2		+	0	ハビエ2L	○	○		○	○	
		近畿 中国	早	●2	●	●2	●2	●2	●2				●	○	再 生 前 ～ 2		+	5	ハビエ2L		○		●	●	1
		普	○2	○	○	○2	○2	○2	○2				●	○	再 生 前 ～ 2		+	5	ハビエ2L		○		○	○	田植同時 散布可能 (東北)
		四国	早	●2	●	●2	●2	●2	●2				●	○	再 生 前 ～ 2		+	5	ハビエ2L		●		●	●	
		普	○2	○	○	○2	○2	○2	○2				●	○	再 生 前 ～ 2		+	5	ハビエ2L		○		○	○	
		九州	早																						
		普																							

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北、関東・東山・東海）
オモガカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北、関東・東山・東海）
コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北）

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロイ	クリカ	ミズ ヤ フリ	ヘラ モ タ	クロ グ ワ	オモ ガ	ヒル シ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量 g/a	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
VII-1 10. NC-311CG -1kg 粒	土壌改良剤	北海道	早	○2	○	○2	○2		○2			○	○前	再 生 前	イソノサ シ 始 1~2L 前 始	100 g/a	1.5	○	○	○	○	2	(28) (38) (38) (40) (42)		
		東北	早	○2	○	○	○2	○2	○2	○始	○始	○	○	○前	始		+0 1~2L	○	○	○	○				
		北陸	早	○2	○	○	○2	○2	○2	○2			○	○	○前		始	○	○	○	○				
		関東 東山 東海	早	○2	○	○	○2	○2	○2				○	○前	再 生 前					○	○	○		土は砂を 除く	
		普	○2	○	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○	○	○	○前		始			○	○	○			
		近畿 中国	早	●2	●	●	●2	●2	●2	●2			●	●発生 期	●前		●始	+3 1~2L			●	●	●	1	田植同時 散布可能 (東北)
		普	●2	●	●	●	●2	●2	●2	●2			●	●発生 期	●前		●再生 前				●	●	●		
		四国	早	●2	●	●	●2	●2	●2	●2			●	●発生 期	●前		●再生 前				●	●	●		
		普	●2	●	●	●2	●2	●2	●2	●2			●	●発生 期	●前		●始				●	●	●		
		九州	早																						
	普																								

VII-1のつづき

	処理法	地域名	作期	1/2	年 広葉 マツハ	ホタル	クリカ	ミズ カ	アヲモ タ	クロク ク	オモダ カ	ヒルム シ	藻類 剥離		処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 11. NC-311CG ①-1kg 粒	土壌 処理剤	北海道														100 g/a						(26) (28) (34)
		東北																				
		北陸																				
		関東 東海	早 普																			
		近畿 中国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○2 ○2					発生 ○期	○前 ○前	リ ○再生 前 始	+5~1/2 ¹ 1.5L +3~1/2 ¹ 1.5L		○ ○	○ ○	○ ○	1	
		四国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○2 ○2					発生 ○期	○前 ○前	○始	+5~1/2 ¹ 1.5L +3~1/2 ¹ 1.5L		○ ○	○ ○	○ ○		
		九州	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○2 ○2					発生 ○期			+5~1/2 ¹ 1.5L +3~1/2 ¹ 1.5L	○ ○	○ ○	○ ○		1.5	

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホタル	クリカ	ミズ カ	アヲモ タ	クロク ク	オモダ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 12. NC-311HW -1kg 粒 VII-2 No.51 に併用	北海道	○2	○	○2	○2			○2			○	○前	+5~1/2 ¹ 2L	100 g/a	○1.5	○	○	○	2	(28) (34)
	東北	○2	○	○2		○2					○	○前			●	●	○	○		
	北陸	○2	○	○2	○2	○2					○	○期			○	○	○	○		
	関東 東海	早 普	○2 ○2	○	○2 ○2	○2 ○2					○	○前 ○期				○	○	○		
	近畿 中国	早 普	○2 ○2	○	○2 ○2	○2 ○2					○	○前 ○期				○	○	○	1	
	四国	早 普	○2 ○2	○	○2 ○2	○2 ○2					○	○前 ○期				○	○	○	1.5	
	九州	早 普	○2 ○2	●	●2 ○2	●2 ○2					●	○前 ○期			●	●	●	1		

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホタル	クリカ	ミズ カ	アヲモ タ	クロク ク	オモダ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 13. NC-311KP -1kg 粒	北海道	●1.5	●	●2	●2			●2			●	○前	+0~1/2 ¹ 1.5L	100 g/a	●	●	●	●	2	(28) (34)
	東北	●1.5	●	●始	●始	●始					●	○期					●	●	1.5	
	北陸	●1.5	●	●2	●2	●始													2	
	関東 東海	早 普	●1.5 ●1.5	●	●始 ●始	●始 ●始					●	○前 ○期				●	●	●		
	近畿 中国	早 普	●1.5 ●1.5	●	●始 ●始	●始 ●始					●	○前 ○期					●	●	1	
	四国	早 普	●1.5 ●1.5	●	●始 ●始	●始 ●始					●	○前 ○期					●	●		
	九州	早 普	●1.5 ●1.5	●	●始 ●始	●始 ●始														

VII-1 14. NC-311KP① 顆粒水和 「継」

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ホタル	クリカ	ミズ カ	アヲモ タ	クロク ク	オモダ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 15. NSK-850D -1kg 粒	北海道	○2	○	○2	○2			○2			○	○前	+5~1/2 ¹ 2L	100 g/a	●	○	○	○	2	(28)
	東北	○2	○	○2	○2	○2	○2				○	○期				●	○	○		
	北陸																			
	関東 東海	早 普																		
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

処理法	地域名	作期	ノヒエ	年 広葉 マダヒ	キナノ	ミズ カサ ツリ	ヘラモ ダマ	クロガ マ	モモダ シ	ミルシ ロ	藻類 菌類	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	水深 cm/d	使用上の 注意			
																				100 g/a	1	2
土壌処理剤	北海道											+ 5 ~ 7月2 L	100 g/a						{ 2 8 } { 3 4 }			
	東北																					
	北陸	○ 2	○	○ 2	○ 2	● 2	○ 2				○ 前									2		
	関東	早	○ 2	○	○ 2	● 2	○ 2				発生期			● 前	再 生期	○ 前	○ 前	○ 前		○ 前	1.5	
	東山	普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生期			○ 前								
	南海	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2							○ 発生期	○ 前							
	近中	普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2				● 発生期			○ 前								
	畿	普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2							○ 発生期	○ 前							
	四国	早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生期			○ 前	再 生期	○ 前	○ 前	○ 前		○ 前	1	
	普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2				● 発生期			○ 前								
	九州	早	● 2	●	● 2	● 2	● 2							● 発生期								
	普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2							● 発生期								

[illegible]

	処理方法	地域名	作期	ヒトエ	一年 広葉 マツハヤ	ササガイ	ワリナ	ミズ アヲリ	ウツメグ ササキ	クダシ コノハ	モミナ コノハ	ヒルナン シロ	藻類腐 敗層	セリ	再生前 の状況	処理時期	使用資 製品	砂壌土	塩 漬土	埋 土	減深 cm/d	使用上の 注意		
VII-1 18. NSK-855① 7077-N	土質改良剤	北海道															50 ml/a					(3 4) (1 1) (4 2)		
		東北																						
		北陸		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+0～/t±2L		○	○	○	2	水口処理 が困難な (北陸、九州 近畿～四国)
		関東 東山 東海	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	*10～/t±2L +5～/t±2L		○	○	○	○	
		近畿 中国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	*10～/t±2L		○	○	○	1	田植同時 散布可能 (関東～東海)
		四国	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		○	○	○	○	1	*10は砂壌土を 除く (砂壌土は +5～/t±2L)
		九州	早 普	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	+5～/t±2L		○	○	○	○	
																			●	○	○			

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（関東～九州）

	処理方法	地域名	作期	1・1	一年広葉	ササ	ササ	ミヤ	アサ	コサ	モサ	モサ	類	類	処理時期	使用農薬	砂	土	土	土	土	減土	使用上の注意
																	量	土	土	土	深	cm/d	
Ⅶ-19. PSSD 粒	土壌肥料	北海道											発生	0期-1L	+0~	300						2	{ 1 3 } { 3 4 }
		東北		○	○	○	○	○	○	始			○生	0期-1L	~1・1 2 L		○	○	○				
		北陸		○	○	○	○	○	○	始			○生	0期-1L			○	○	○				
		関東山	早	○	○	○	○	○	○	○			発生	0期-1L	*+0~1・1 2 L		○	○	○				*+0は堆積土~
		東海	普	○	○	○	○	○	○	○			○期	0期-1L	+3~1・1 2 L		○	○	○				堆土(砂土、 土は+3~
		畿中	早	○	○	○	○	○	○	○			発生	0期-1L	*+0~1・1 2 L			○	○		1		*+0は堆積土~
			普	○	○	○	○	○	○	○	○		○期	0期-1L			○	○		1.5			堆土(砂土、 土は+3~1・1 2 L)
		四国	早	○	○	○	○	○	○	○			発生	0期-1L						1			
			普	○	○	○	○	○	○	○	○		○期	0期-1L			○	○		1.5			
		九州	早	○	○	○	○	○	○	○			発生	0期-1L	+3~1・1 2 L			○	○		1		
			普	○	○	○	○	○	○	○			○期	0期-1L	+0~1・1 2 L		○	○	○		1.5		

VII-1のつづき

	処理法	地域名	作期	ハ・エ 広葉マツハ	一年 マツハ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カ・リ	ヘラオモ ダ・カ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	水深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 20. SKH-8602 粒	土壌処理剤	北海道	早	○2	○	○2	○始		○2			○発生	○前	○再 生 前 始	始~2L	300 g/a	○	○	○	○	2	(33) (26) (34) (38) (40) (41) (42)	
		東北	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期		○再 生 前 始	始~2L		○	○	○	○			
		北陸	早	○2	○	○2	○2	○2	○2					○再 生 前 始	+5 ~ 1.5L		○	○	○	○			
		関東 東山 東海	早	○2	○	○2	○始	○2					○発生	○前	○再 生 前 始			○1	○	○	○	1.5	
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○始	○2			○始	○始	○期	○前	○再 生 前 始			○	○	○	○	2	
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2			○始	○始	○期	○前	○再 生 前 始			○	○	○	○	1	
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2					○発生	○前	○再 生 前 始			○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2					○発生	○前	○再 生 前 始			○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2		○始	○始	○期	○前	○再 生 前 始				○	○	○	○	2	
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2					○発生	○前	○再 生 前 始			○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2					○発生	○前	○再 生 前 始			○	○	○	○		
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2			○始		○発生	○期	○前	○再 生 前 始			○	○	○	○	1.5

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北、関東～九州）
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北、近畿・中国・四国）

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年葉マツハ	ホタルイ	ウリカワ	ミズカカリ	ヘラオモダ	クロガワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離		処理時期	使用量 製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減深 cm/d	使用上の 注意					
VII-1 21. SL-498 -1kg 粒	土壌処理剤	北海道											○発生期		+0 ~ 1.2 L	100 g/a	○	○	○	○	2	(1 3 3) (3 4)					
		東北	○2	○	○始	○始	○始	○始				○発生期	○前														
		北陸	○2	○	○2	○2	○2						○発生期	○前						○	○		1				
		関東 東山 東海	早	○2	○	○2	○2							○発生期			○前			○1	○		○	○	1.5		
			普	○2	○	○2	○2										○発生期	○前			○		○	○	○	2	
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2						○発生期			○前				○		○	○	○	1	
			普	○2	○	○2	○2	○2									○発生期	○前			○		○	○	○	1.5	
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2						○発生期			○前			○	○		○	○	1		
			普	○2	○	○2	○2	○2									○発生期	○前			○		○	○	○	1.5	
		九州	早	●2	●	●2	●2	●2									●発生期				●		●	●	●	1	
			普	○2	○	○2	○2	○2									○発生期	○前			○		○	○	○	1.5	

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カ・リ	ヘラオモ ダ・カ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	水深 cm/d	使用上の 注意	
VII-1 22. SL-970 7077°N	土壌処理剤	北海道	早	○1.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○前		+3~ハ・エ1.5L	100 ml/a	○1.5	○	○	○	2		(33) (34) 水口処理 可能 (金城)	
		東北	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前		+3~ハ・エ2L		○	○	○	○			
		北陸	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前				○	○	○	○			
		関東 東山 東海	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前				○1	○	○	○			
		関東 東山 東海	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前				○	○	○	○			
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前				○	○	○	○	1		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前				○	○	○	○	1.5		
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前				○	○	○	○	1		
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前				○	○	○	○	1.5		
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前				○	○	○	○	1		
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				●発生期	○前					○	○	○	○	1.5	

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	広葉 マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カ・リ	ヘラオモ ダ・カ	クロガ ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	トリ ノ・イ	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	水深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 23. TDS-888 7077°N II-6-(5) を併用	土壌 換 理 剤	北海道	早	○1.5	○	○2	○2		○2			○発生	○前	○再 生 前 始	+0~ 1.5L	50 ml/a	○1.5	○	○	○	2	(33) (28) (40) 水口処理 可能 (北海道、 東北) 田植同時 散布可能 (東北)	
		東北	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生	○前	○再 生 前 始			○	○	○	○			
		北陸	早												○再 生 前 始								
		関東 東山 東海	早												○再 生 前 始								
		関東 東山 東海	早												○再 生 前 始								
		近畿 中国	早												○再 生 前 始								
		近畿 中国	早												○再 生 前 始								
		近畿 中国	早												○再 生 前 始								
		近畿 中国	早												○再 生 前 始								
		近畿 中国	早												○再 生 前 始								
		近畿 中国	早												○再 生 前 始								
		九州	早																				

VII-1のつづき

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クワリ	ミヤカ	ハラモ	クログ	ネモ	ヒルム	藻類剥離	テリ	処理時期	使用量製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 24.TDS-888 7077% II-6-(8) を併用	北海道											発生期	再生前	±0～ 1.5L (関東～東海期 の10は、早期 土を除く)	50 ml/a						(3) (33) (34) (36) (41)
	東北											発生期	再生前								水口処理 可能 (北陸～ 四国、九州)
	北陸		○1.5	○	○2	○始	○2				○	○	○始			○	○	○	○	2	
	関東 東海	早	○1.5	○	○2	○2	○2					発生期	○前			○	○	○	○	1.5	
	普		○1.5	○	○2	○2	○2				○	○	○前	再生前		○	○	○	○	2	
	近畿	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○	発生期	○				○	○	○	1	田植同時 散布可能 (関東～九州)
	中国	普	○1.5	○	○2	○始	○2				●	発生期	○			○	○	○	○	2	
	普		○1.5	○	○2	○始	○2				○	発生期	○			○	○	○	○	2	
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始					発生期	○				○	○	○	1	
	普		○1.5	○	○2	○始	○2				●	発生期	○	再生前		○	○	○	○	2	
	九州	早	○1.5	○	○2	○2	○2				○	発生期	○			○	○	○	○	1.5	
	普		○1.5	○	○2	○2	○2				○	発生期	○	●		○	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	1/2エ	広葉マツハイ	ホタルイ	クワリ	ミヤカ	ハラモ	クログ	ネモ	ヒルム	藻類剥離	テリ	処理時期	使用量製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深 cm/d	使用上の 注意	
VII-1 25.TH-913ADS ① 土壌処理剤		北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○	○前	再生前	+ 3 ~ 1.5L	300 g/a	●	○	○	○	2	{ 2 8 } { 3 4 }	
		東北		○1.5	○	○始	○始	○始	○始				○	○前			○	●	○	○	○		
		北陸		○1.5	○	○始	○始	○始	○始				○	○前			●	●	○	○	○		
		関東 東海	早	○1.5	○	○2	○2	○2				●	発生期	○前			●	○	○	○	○		1
		普	○1.5	○	○2	○2	○2				●	発生期	○前	●			○	○	○	○	2		
		近畿	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○	発生期	○前			○	●	○	○	○		1
		中国	普	○1.5	○	○始	○始	○始				●	発生期	○前			○	○	○	○	2		
		普		○1.5	○	○始	○始	○始				○	発生期	○前			○	○	○	○	2		
		四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○	発生期	○前			○	●	○	○	○		1
		普	○1.5	○	○始	○始	○始				●	発生期	○前	○			○	○	○	2			
		九州	早	○1.5	○	○2	●2	○2				○	発生期	○			●	○	○	○	○		1
		普	○1.5	○	○2	○2	○2					○	発生期	○前			●	○	○	○	1.5		

	処理法	地域名	作期	1/2エ	至 広葉マツハイ	ホタルイ	クワリ	ミヤ カリ	ハラモ タマ	クログ ワ	ネモ タ	ヒルム シロ	藻類 剥離	テリ	処理時期	使用 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水深 cm/d	使用上の 注意			
VII-1 26. TH-913ADS ①-1kg 粒	土壌処理剤	北海道		●1.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前	+3～1/2×1.5L	100 g/a	●	●	●	●	2	(28)			
		東北		●1.5	●	●2	●2	●始	●始			●発生期	●前	●					●	●	●		1.5		
		北陸		●1.5	●	●2	●2	●始					●前	●			●始		●	●	●		2		
		関東 東海	早 普																						
		近畿	早 普	●1.5 ●1.5	● ●	●始 ●始	●始 ●始	●始 ●始				●発生期	●前 ●前	●再生前 ●始					●	●	●		●	1 2	
		四国	早 普	●1.5 ●1.5	● ●	●始 ●始	●始 ●始	●始 ●始				●発生期	●前 ●前						●	●	●		●	1 2	
		九州	早 普																						

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉マツハイ	ホタルイ	クワリ	ミヤカ	ハラモ	クログ	ネモ	ヒルム	藻類剥離	テリ	処理時期	使用量 製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深 cm/d	使用上の 注意			
VII-1 27.TH-913HSK -1kg 粒 II-6-(6) を併用	土壌 処理剤	北海道		○2	○	○2	○2		○2			○	○前	○再生前	+5～ 1.2L ※:エゾノササダクサ 2L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34)			
		東北		○2	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○			●	●	○	○	○				
		北陸		○2	○	○2	○2	○2	●2					○			○	○始	●	○	○		○		
		関東 東海	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			●	○発生期	○前			○	○再生前	○	○	○		○		
		普		○2	○	○2	○2	○2				○	○発生期	○前			○	○再生前	○	○	○		○		
		近畿	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				●	○発生期			○	○	○始	●	○		○	○	1
		中国	普		○2	○	○2	○2	○2				●	○発生期			○	○	○始	○	○		○	○	1.5
		普		○2	○	○2	○2	○2	○2				○	○発生期			○	○	○始	○	○		○	○	1.5
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				●	○発生期			○	○再生前	○	○	○		○	1	
		普		○2	○	○2	○2	○2	○2				○	○発生期			○	○再生前	○	○	○		○	1.5	
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2	○2				○	○発生期			○	○	○始	○	○		○	○	1
		普		○2	○	○2	○2	○2	○2					○			○	○始	○	○	○		○	1.5	

VII-1のつづき

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タナ	クロガ タ	オモダ ナ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	再生 前	再生 後	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 28. TH-913ST 7077 ^ル II-6-(5) II-6-(6) を併用	北海道	早	○1.5	○	○2	○2		○2			○	発生期	○前	再生前	+0~ /t ¹ 1.5L	50 ml/a	○	○	○	○	2	(34) (40) (41)
	東北	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○	発生期	○前	再生前	*:エノノサヤタナ 2L		●	○	○	○		田植同時 散布可能 (東北、 関東~東海 九州)
	北陸	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○	発生期	○前	再生前			●	○	○	○		
	関東 東山 東海	早	○1.5	○	○2	○2	○2				○	発生期	○前	再生前			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○2	○2				○始	発生期	●前	再生前			○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○	発生期	○前	再生前			●	●	○	○	1	水口処理 可能 (全境)
		普	○1.5	○	○始	○始	○始				●	発生期	●前	○			○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○	発生期	○前	○			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始				●	発生期	●前	再生前			○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○1.5	○	○2	○始	○始							再生前			○	○	○	○		
		普	○1.5	○	○始	○始	○始						●	始			○	○	○	○		

VII-2 初・中期一発処理剤

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タナ	クロガ タ	オモダ ナ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	再生 前	再生 後	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 1. AC-014E -1kg 粒 薬処理	北海道	早	●2	●	●2	●2		●2			●	発生期	●前	再生前	+5~ /t ¹ 2L	100 g/a	●	●	●	●	2	(28) (34)
	東北	早	●2	●	●2		●2				●	発生期	●前	再生前			●	●	●	●	1	
	北陸	早	●2	●	●2	●2	●2	●2			●	発生期	●前	再生前			●	●	●	●	2	
	関東 東山 東海	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●	発生期	●前	再生前	+5~ /t ¹ 2.5L		●	●	●	●		
		普	●2.5	●	●2	●2	●2				●	発生期	●前	再生前			●	●	●	●		
	近畿 中国	早	●2	●	●2	●2	●2				●	発生期	●前	再生前	+5~ /t ¹ 2L		●	●	●	●	1	
		普	●2	●	●2	●2	●2				●	発生期	●前	再生前			●	●	●	●		
	四国	早	●2	●	●2	●2	●2				●	発生期	●前	再生前			●	●	●	●		
		普	●2	●	●2	●2	●2				●	発生期	●前	再生前			●	●	●	●		
	九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●	発生期	●前	再生前	+5~ /t ¹ 2.5L		●	●	●	●		
		普	●2.5	●	●2	●2	●2				●	発生期	●前	再生前			●	●	●	●		

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タナ	クロガ タ	オモダ ナ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	再生 前	再生 後	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 2. AGH-925 -1kg 粒 薬処理	北海道	早													+5~ /t ¹ 2.5L	100 g/a					1	(34) (41)
	東北	早																				
	北陸	早																				
	関東 東山 東海	早																				
		普																				
	近畿 中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●	発生期	●再生前				●	●	●	●		
		普	●2.5	●	●2	●2	●2				●	発生期	●再生前				●	●	●	●		
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●	発生期	●再生前				●	●	●	●		
		普	●2.5	●	●2	●2	●2				●	発生期	●再生前				●	●	●	●		
	九州	早	●3	●	●2	●2	●2				●	発生期	●再生前				●	●	●	●		
		普	●3	●	●2	●2	●2				●	発生期	●再生前				●	●	●	●		

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ タナ	クロガ タ	オモダ ナ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	再生 前	再生 後	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 3. CH-904 粒 薬処理	北海道	早	○2.5	○	○2	○2		○2			○	発生期	○前	再生前	+10~ /t ¹ 2.5L	300 g/a		○	○	○	2	(28)
	東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	発生期	○前	再生前	+5~ /t ¹ 2.5L				○	○		
	北陸	早												始								
	関東 東山 東海	早																				
		普																				
	近畿 中国	早																				
		普																				
	四国	早																				
		普																				
	九州	早																				
		普																				

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホトメ	クリカ	ミヤ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 4. CH-904X -1kg 粒	北海道	●3	●	●2	●2			●2			●発生 期	●前	●再生 前	+10~ノヒエ13L	100 g/a		●	●	●	2	(28)
	東北	●3	●	●2		●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前	+5~ノヒエ13L			●	●	●		
	北陸	早											●再生 前								
	関東 東海	早																			
	近畿 中国	早																			
	四国	早																			
	九州	早																			
	普																				

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホトメ	クリカ	ミヤ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 5. CH-904D 粒	北海道												●再生 前		300 g/a						(28)
	東北										●発生 期	●前	○始	+5~ノヒエ2.5L						2	(34)
	北陸	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生 期	●前	○始			○	○	○	○	2	
	関東 東海	早									●発生 期	○前	○再生 前								
	近畿 中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	○前	○再生 前			○	○	○	○	1	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				●発生 期	○前	○始			○	○	○	○	2	
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	○前	○再生 前			○	○	○	○	1	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				●発生 期	○前	○始			○	○	○	○	2	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生 期		○再生 前			○	○	○	○	1.5	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期		○始			○	○	○	○	1.5	

VII-2 6. CH-904D-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホトメ	クリカ	ミヤ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 7. CH-906 粒	北海道	○2.5	○	○2	○2			○2			○発生 期	○前	○再生 前	+10~ノヒエ2.5L	300 g/a		○	○	○	2	(28)
	東北	○2.5	○	○2	●2	○2					○発生 期	○前	○再生 前	+5~ノヒエ2.5L			○	○	○	1.5	
	北陸	早											○始								
	関東 東海	早																			
	近畿 中国	早																			
	四国	早																			
	普																				
	九州	早																			

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツハ	ホトメ	クリカ	ミヤ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 8. CH-906D 粒	北海道												●再生 前		300 g/a						(28)
	東北												●再生 前								(34)
	北陸	○2.5	○	○2	●2	○2	○2					●前	○始	+5~ノヒエ2.5L		●	●	○	○	2	
	関東 東海	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	○前	●再生 前			●	●	●	●	1	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前			○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	○前	○再生 前				●	●	●	1	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				●発生 期	○前	○始			○	○	○			
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	○前	○再生 前				●	●	●		
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				●発生 期	○前	○始			○	○	○			
	九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2						○再生 前			●	●	●	●	1.5	

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ネタリイ	クリカワ	ミスヤフリ	ヘラオモタカ	クロガワ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 9. CH-908D -1kg 粒	北海道													+5~1/2 ⁺ ±2.5L	100g/a						(28)
	東北																				
	北陸		●2.5	●	●2	●2	●2											●	●	1	
	関東	早																			
	東山	普																			
	近畿	早																			
	畿中	早	●2.5	●	●2	●2	●2						●再生前			●	●	●	●		
	早												●								
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2						●再生前			●	●	●	●		
	早												●								
	九州	早																			
	普																				

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ネタリイ	クリカワ	ミスヤフリ	ヘラオモタカ	クロガワ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 10. CH-907 -1kg 粒	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前	+5~1/2 ⁺ ±2.5L	100g/a		●	●	●	2	(34) (41)
	東北		○2.5	○	○2	●2	○2	●2			○	○	○					○	○		
	北陸		○2.5	○	○2	●2	○2	○2					●始				●	○	○		
	関東	早									○期	○前	○再生前						○		
	東山	普	○2.5	○	○2	○2	○2												○		
	近畿	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	1	
	早										○期	○前	○								
	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○前	○			●	○	○	○	2	
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	1	
	早										○期	○前	○			●	○	○	○	2	
	九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2						●始							1	
	普																	●			

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	オタノイ	クリカワ	ミズヤフリ	ヘラオモダカ	クロガワ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	水深cm/d	使用上の注意		
VII-2 11. CH-908 -1kg 粒	基準土壌処理	北海道		●2	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前	+10~1/2 ⁺ ±2L	100g/a		●	●	●	2	{ 28 34 }		
		東北		●2	●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●再生前		+5~1/2 ⁺ ±2L		●	●	●		1	
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●前	●始		+5~1/2 ⁺ ±2.5L				●		●	
		関東	早														+5~1/2 ⁺ ±2L							
		東山	普	●2	●	●2	●2	●2													●		●	
		近畿	早															+5~1/2 ⁺ ±2.5L						
		早																						
		普	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期							●	●	●			
		四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期								●	●		●	
		早																						
		九州	早	●2.5	●	●2		●2															●	●
		普																						

VII-2 12. CH-941 7077[°]ル 「継」VII-2 13. CH-941D 7077[°]ル 「継」

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ネタリイ	クリカワ	ミスヤフリ	ヘラオモタカ	クロガワ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 14. DPX-47K -1kg 粒 II-6-(5)を併用	北海道													+5~1/2 ⁺ ±2.5L *:シズイ発生始~草丈3cm	100g/a						(28) (34) (40)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			●発生期	●前	●再生前			●	●	○	○	2	
	北陸		●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●始			●	●	○	○		
	関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○期	○前	○再生前			○	○	○	○		
	東山	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○期	○前	○								
	近畿	早																		1.5	
	早																				
	普	●2.5	●	●2	●2	●2					●再生前	●始				●	●	●	●		
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2						●始			●	●	●	●		
	早																				
	九州	早	●2.5	●	●2		●2				●発生期					●	●	●	●	1	
	普															●	●	●	●		

VII-2のつづき

	処理法	地域名	作期	1/2 広葉 マナ	ホウ イ	クサ リ	ミ ナ リ	ヘ ア モ タ	ク ロ ガ マ	モ サ マ	ヒ ム シ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量 g/a	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意	
Ⅶ-2 15. DPX-47MN -1kg 粒 ⅡⅡⅡ -6-(5) -6-(6) -6-(8) を併用	茎葉茶・炭処理	北海道	●2	●	●2	●2		●2			●発生 期	●前 期	●再生 期	+5~ 1/2 12 L	100	●	●	●	●2		(28) (34) (36) (40)	
		東北	●2	●	●2	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	●再生 期			●	●	●1.5			
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●前 期	●再生 期	+5~1/2 12.5 L				●	●1		
		関東 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前 期	●再生 期	*:1/2 /ササガクサ 2L *:1/2 /シズイ 発生期 2/4ササ 2/4ササ			●	●	●2		
		近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	●再生 期			●	●	●	●1		
			●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●前 期	●再生 期			●	●	●	●1.5		
		四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	●再生 期			●	●	●	●1		
			●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●前 期	●再生 期			●	●	●	●1.5		
		九州	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前 期	●再生 期						●	●1	
			●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●前 期	●再生 期			●	●	●	●		

	処理法	地域名	作期	ノヒエ	広葉マナ	ホウイ	クサリ	ミナリ	ヘアモタ	クロガマ	オモダ	ヒムシロ	藻類剥離		処理時期	使用量 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	水深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 16. DPX-47ND -1kg 粒	茎葉土壌処理	北海道	●3	●	●2	●2		●2				●発生 期	●前 期	●再生 期	+5 ノヒエ3L	100 g/a	●	●	●	●2		(28) (34)
		東北	●3	●	●2	●2		●2					●発生 期	●前 期	●再生 期			●	●	●1.5		
		北陸	●3	●	●2	●2	●2							●前 期	●再生 期			●	●	●2		
		関東 東海	早 普	●3	●	●2	●2	●2					●発生 期	●前 期	●再生 期			●	●	●	1.5	
		近畿 中国	早 普	●3	●	●2	●2	●2					●発生 期	●前 期	●再生 期			●	●	●	1	
		四国	早 普	●3	●	●2	●2	●2					●発生 期	●前 期	●再生 期			●	●	●		
		九州	早 普	●3	●	●2	●2								●前 期	●再生 期			●	●		

	処理法	地域名	作期	1/2	広葉マナ	ホウイ	クサリ	ミナリ	ヘアモタ	クロガ	モサ	ヒムシロ	藻類剥離		処理時期	使用量 g/a	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 17. DPX-47SC 粒	薬害薬土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○前期	○再生期	+5~/t ² 12.5L	300		○	○	○	2	{28} {34}	
		東北		●2	●	●2	●2	●2	●2				●発生期	●前期	●再生期	+5~/t ² 12L			●	●	1.5		
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2					○前期		○再生期	+5~/t ² 12.5L				○	1		
		関東 東海	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期		○再生期			○	○	○	2		
		近畿 中国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期		○再生期			○	○	○	1		
				○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期		○再生期			○	○	○			
		四国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期		○再生期			○	○	○			
				○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期		○再生期			○	○	○			
		九州	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2								○再生期			○	○	○		1.5
																			○	○	○		

	処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マナ	ホウ イ	クサ リ	ミ ナ リ	ヘ ア モ タ	ク ロ ガ マ	モ サ マ	ヒ ム シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 g/a	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 18. DPX-47SC -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) II-6-(8) を併用	養葉土 土壌処理	北海道	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期	○再生 期	+5~ 1t ² 12.5 L	100 g/a	●	○	○	○2	(28) (34) (36) (40)	
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●前 期	●始	*:1/2 ² /t ² 12.5 L *:1/2 ² /t ² 12.5 L *:1/2 ² /t ² 12.5 L		●	●	●1.5		
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○前 期	○始			○	○	○2			
		関東 東海	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期	○再生 期	2)コキキタラ		○	○	○		
		近畿 中国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期	○始			○	○	○1		
		四国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期	○再生 期			○	○	○1.5		
		九州	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期	○始	コキキタラ		○	○	○1		

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ナツハ	クリカ	ミズ カヤ	ヘラ タ	クロ グ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 19. DPX-47TD -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) II-6-(8) を併用	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○	発生期	○前	○再生前	●	○	○	○	2	(28) (34) (36) (40)
	東北		○3	○	○2	○2	○2	○2				発生期	○前	○再生前	●	●	○	○		
	北陸		○3	○	○2	○2	○2					●	○	○再生前	●	○	○			
	関東 東山 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2					●	○	○再生前	○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					○	○	○再生前	○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○	○	○再生前	○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					○	○	○再生前	○	○	○	○		
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○	○	○再生前	○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					○	○	○再生前	○	○	○	○		
	九州	早	●2	●	●2	●2	●2					○	○	○再生前	○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					○	○	○再生前	○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ナツハ	クリカ	ミズ カヤ	ヘラ タ	クロ グ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 20. DPX-84MN -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) II-6-(8) を併用	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○	発生期	○前	○再生前	●	○	○	○	2	(28) (34) (36) (40)
	東北		●2	●	●2	●2	●2	●2			●	発生期	○前	○再生前	●	●	○	○		
	北陸													○再生前						
	関東 東山 東海	早																		
		普																		
	近畿 中国	早																		
		普																		
	四国	早																		
		普																		
	九州	早																		
		普																		

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ナツハ	クリカ	ミズ カヤ	ヘラ タ	クロ グ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 21. DPX-84MN ①-1kg 粒 II-6-(8) を併用	北海道											発生期	○再生前	○					2	(28) (34) (36) (42)
	東北											発生期	○再生前	○						
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	発生期	○再生前	○	○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				発生期	○再生前	○	○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	発生期	○再生前	○	○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○	発生期	○再生前	○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	発生期	○再生前	○	○	○	○	1.5		
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○	発生期	○再生前	○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	発生期	○再生前	○	○	○	○	1.5		
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○	発生期	○再生前	○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	発生期	○再生前	○	○	○	○			

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（関東～四国）

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ナツハ	クリカ	ミズ カヤ	ヘラ タ	クロ グ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 22. DPX-84MN ①-1kg 粒 II-6-(8) を併用	北海道											発生期	○再生前	○						(28) (34) (36)
	東北											発生期	○再生前	○						
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○	発生期	○再生前	○	○	○	○	2	
	関東 東山 東海	早	●2	●	●2	●2	●2	●2				●	発生期	○再生前	○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○	発生期	○再生前	○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●	発生期	○再生前	○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○	発生期	○再生前	○	○	○	○	2	
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●	発生期	○再生前	○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○	発生期	○再生前	○	○	○	○	2	
	九州	早											○再生前	○					1.5	
		普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●	発生期	○再生前	○	○	○	○		

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 23. DPX-84ND 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道	○3	○	○2	○2		○2				○発生期	○前	○再生前	+5~ノヒエ3L	300g/a		○	○	○	2	(28) (38) (42)
	東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●始	●始	●始	●始	●前	●前	+5~ノヒエ12.5L		●	●	●			
	北陸																				
	関東	早																			
	東海	普																			
	近畿	早																			
	中国	普																			
	四国	早																			
	九州	早																			
	普																				

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 24. DPX-84ND 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道												○再生前		300g/a						(28) (34) (38) (42)
	東北												○前	○始	+5~ノヒエ3L	●	○	○	○	2	
	北陸	早	○3	○	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前		●	●	○	○		
	関東	普	○3	○	○2	○2	○2		●始	●始		○発生期	○前	○再生前		●	●	○	○		
	東海	普	○3	○	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前				○	○		
	近畿	早	○3	○	○2	○2	○2					○発生期	○前	○始				○	○	1	
	中国	普	○3	○	○2	○2	○2			●始	●期		○			○	○	○	○	2	
	四国	早	○3	○	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前		○	○	○	○	1	
	九州	早	○3	○	○2	○2	○2			●始	●期		○	○再生前		○	○	○	○	2	
	普	●3	●	●2	●2	●2			●始	●期		○	○			○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 25. DPX-84SC 1kg 粒 II-6-(2) II-6-(3) II-6-(8) を併用	北海道	○2.5	○	○2	○2		○2				○発生期	○前	○再生前	+5~ノヒエ2.0L +5~ノヒエ12.5L	100g/a	○	○	○	○	2	(28) (36) (38) (40) (42)
	東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	●始	○期	●前	●前	●前			●	○	○	○		
	北陸																				
	関東	早																			
	東海	普																			
	近畿	早																			
	中国	普																			
	四国	早																			
	九州	早																			
	普																				

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 26. DPX-84SC 1kg 粒 II-6-(1) II-6-(8) 併用	北海道												○再生前		100g/a						(28) (34) (38) (42)
	東北												○前	○始	+5~ノヒエ12.5L	○	○	○	○	2	
	北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○発生期	○前	○再生前		○	○	○	○		
	関東	普	○2.5	○	○2	○2	○2			●始	○期	○前	○再生前			○	○	○	○		
	東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前		○	○	○	○		
	近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前	○始				○	○	1	
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2		●始	●始	●期	○前	○			○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前		○	○	○	○	1	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2			●始	●期	○前	○			○	○	○	○	1.5	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2							○始			○	○	○	○	1.5	

	処理法	地域名	作期 /ヒ・エ	一年 広葉 マハイ	ナメ ナメ	クリ クリ	ミ ミ	ヘ ヘ	クロ クロ	オ オ	ヒ ヒ	類 類	処理時期	使用 量	砂 土	堆 土	堆 土	減 深	使用 上
														g/a				cm/d	注意
VII-2	27. DPX-84TD	北海道										発生期	再生前	100					(26)
	①-1kg 粒	東北										発生期	前						(28)
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○	発生期	前					2	(34)
II-6-(8)	を併用	関東 東山 東海	早 普	○2.5 ○	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				発生期	再生前		○	○	○		(36)
		近畿 中国	早 普	○2.5 ○	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				発生期	前		○	○	○	1	(38)
			早 普	○2.5 ○	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				発生期	前		○	○	○	1.5	
		四国	早 普	○2.5 ○	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				発生期	前			○	○	1	
		九州	早 普	○2.5 ○	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				発生期	前		○	○	○	1.5	

VII-2 33. HSW-942-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作 期	一年 広葉 マハ イ	ササ ユリ	クリ カリ	ミ ナ ガ ワ	アザ ミ	クロ ウ	オモ ロ	ヒメ シソ	類 葉 剥 離	再 生 前	再 生 後	処理時期	使用 量・ 製 品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 34. KUH-883(1) 粒	産業系土壌処理	北海道											発生期	再生前		300 g/a						(26) (34) (38) (41) (42)
		東北											発生期	再生前								
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○前	○始	+0～ 1/2L (早期は2L)		○	○	○	○	2	
		関東山 東山 東海	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○	発生期	○前			○	○	○	○		砂埴土、埴土 は15～(九州) 普通期は13～)
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○	発生期	○前			○	○	○	○		
		近中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○	発生期	○前		+5～1/2L	○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始		○	発生期	○前		+0～1/2・2.5L	○	○	○	○	2	
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○	発生期	○前		+5～1/2・2L	○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始		○	発生期	○前		+0～1/2・2.5L	○	○	○	○	2	
		九州	早	○2	○	○2	○2	○始				○	発生期	○前	7月 10日	+0～1/2・2L	○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○始				○	発生期	○前	7月 10日	+0～1/2・2.5L	○	○	○	○	1.5	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（関東～九州）
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（北陸～東海、九州）

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタル	ウリカワ	ミズ カ クリ	ヘラオモ カ	クロダ マ	オモダ マ	ヒルミ シロ	落葉 類 腐 菌	セリ 再生 前	処理時期	使用 量 製品	砂 壤 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意		
																					(26) (34) (38) (41)		
VII-2 35. KUH-883L -1kg 粒	北海道												再生 前		100 g/a						(26) (34) (38) (41)		
	東北												再生 前	+0 〜 /ヒ±2.5L						2	砂壌土は 15〜(近畿〜四国 以外の地域)		
	北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○始	○	○前	○始			○	○	○	○	2	砂壌土は 15〜(近畿〜四国 以外の地域)	
	関東 東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○始	○	○前	○再 生 前	+0〜ヒ±2L			○	○	○	○	2	砂壌土は 15〜(近畿〜四国 以外の地域)
	近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				●	○前	●	±0 〜 /ヒ±2.5L						1	砂壌土は15〜 (近畿〜四国)	
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				●	○前	○始					○	○	1.5		
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				●	○前	●						○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○前	○前				●	○	○	○	1.5	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○前	○再 生 前								2	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○始				○期	○前	○前	○始			○	○	○	○		

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	/ヒ・エ	一年広葉マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミヤカワ	ハラオモダカ	クロガタ	オモダカ	ヒルムシロ	藻表剥離	類腐離	ヒリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-2 36. KUH-931 -1kg 粒	北海道		●3	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前		+10~ノヒ・13L	100 g/a	●	●	●	●	2	(28) (34)
	東北		●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前		+5~ノヒ・13L		●	●	●	●	1.5	
	北陸		●3	●	●2	●2	●2	●2				●前	●再生前	始			●	●	●	●	2	
	関東	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	●		
	東海	普	●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	●		
	近畿	早											●再生前	始								
	中国	普	●3	●	●2	●2	●2						●再生前				●	●	●		1	
	四国	早											●再生前									
		普	●3	●	●2	●2	●2						●始					●	●	●		
	九州	早																				
		普	●3	●	●2	●2	●2				●前						●	●	●	●		

処理法	地域名	作期	/ヒ・エ	一年広葉マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミヤカワ	ハラオモダカ	クロガタ	オモダカ	ヒルムシロ	藻表剥離	類腐離	ヒリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-2 37. KUH-936 -1kg 粒	北海道		●3	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前		+10~ノヒ・13L	100 g/a	●	●	●	●	2	(28)
	東北		●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前	始	+5~ノヒ・13L						1	
	北陸																					
	関東	早																				
	東海	普																				
	近畿	早																				
	中国	普																				
	四国	早																				
		普																				
	九州	早																				
		普																				

処理法	地域名	作期	/ヒ・エ	一年広葉マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミヤカワ	ハラオモダカ	クロガタ	オモダカ	ヒルムシロ	藻表剥離	類腐離	ヒリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-2 38. KUH-936B -1kg 粒	北海道														+5~ノヒ・13L	100 g/a						(28) (34)
	東北																					
	北陸		●3	●	●2	●2	●2					●前	●再生前				●	●	●	●	2	
	関東	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	●		
	東海	普	●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	●		
	近畿	早											●再生前	始								
	中国	普	●3	●	●2	●2	●2						●再生前								1	
	四国	早											●始									
		普	●3	●	●2	●2	●2											●	●	●		
	九州	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生期						●	●	●	●		
		普	●3	●	●2	●2	●2				●発生期						●	●	●	●		

処理法	地域名	作期	/ヒ・エ	一年広葉マツハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミヤカワ	ハラオモダカ	クロガタ	オモダカ	ヒルムシロ	藻表剥離	類腐離	ヒリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-2 39. KUH-936C -1kg 粒	北海道													●再生前	+5~ノヒ・13L	100 g/a						(28)
	東北		●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前	始					●	●	1	
	北陸																					
	関東	早																				
	東海	普																				
	近畿	早																				
	中国	普																				
	四国	早																				
		普																				
	九州	早																				
		普																				

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツバ	ナメク リカワ	ミナ ムシ	ヘラオモ ダケ	クロガ イ	オモダ キ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用・ 量製 品	砂 壌土	壤 土	埴 土	水 澁 cm/d	使用上の 注意
VII-2 40. KUH-936C -1kg 粒	茎葉茶十條処理	北海道																	{28}
		東北																	{34}
		北陸	● 3	●	● 2	● 2	● 2	● 2			● 前		+5 ~ / t ± 13L	100 g/a	●	●	●	●	2
		関東山 東海	早 普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2		発生期	● 前	再生前 より始	+5 ~ / t ± 2.5L		●	●	●	●	
		畿中	早 普	● 3	●	● 2	● 2	● 2			● 再生 前より始		+5 ~ / t ± 13L						
		四国	早 普	● 3	●	● 2	● 2	● 2			● 再生 前より始				●	●	●	●	1.5
		九州	早 普	● 3	●	● 2	● 2	● 2		発生期					●	●	●	●	1

VII-2 47. NBA-943-1kg 粒 「繼」

	処理法	地域名	作期	/t・x 一年 広葉 アブラ	ナカリ	クリカワ	ミヤ カブリ	ヘラオ タネ	クロゲ ワイ	オモガ カ	モロシ シ	薬類 腐離			処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	植 土	減 水 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 48. NC-311DCP 粒	事業系 堀処理	北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前	再 生 前 始	+5~ /t・x3 L	300 g/a		○	○	○2	{28} {34}			
		東北	●3	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●前			●前			●		●	●	
		北陸	●3	●	●2	●2	●2						●前			●前			●		●	●	
		関東 東山	早	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生 期			●前	再 生 前 始				○	○	○
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生 期	○前			○前			○		○	○	
		近畿 中	早	●3	●	●2	●2	●2					●発生 期			●前	●前				●	●	●1
		普	○3	○	○2	○2	○2					○発生 期	○前	○前			○	○	○1.5				
		四国	早	●3	●	●2	●2	●2					●発生 期	●前	再 生 前 始			●	●	●1			
		普	○3	○	○2	○2	○2					○発生 期	○前	○前			○	○	○1.5				
		九州	早	○3	○	○2	○2	○2					○発生 期	○前	再 生 前 始				○	○1			
普	○3	○	○2	○2	○2					○発生 期							○	○1					

	処理方法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ナメク コ	クリ カ	ミズ カ	ヘリ タ	クロ タ	オモ タ	ヒル シ	葉 剥 ロ	葉 剥 シ ロ	葉 剥 シ ロ	処理時期	用・ 量 製 品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 49. NC-311DCP -1kg 粒	蕎麦 草 一 葉 刈 理	北海道	● 3	●	● 2	● 2		● 2				● 発生 期	● 前	● 再生 前 始	+5~+t ¹ ×3L	100 g/a	1.5 ●	●	●	●	2	(28)
		東北																				
		北陸																				
		関東 東山 東海	早 普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2				● 発生 期	● 前	● 再生 前 始	+5~+t ¹ ×2.5L					●	●	
		近畿 中国	早 普	● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生 期	● 前	● 再生 前 始	+5~+t ¹ ×3L							
		四国	早 普	● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生 期	● 前	● 再生 前 始			●	●	●		1	
		九州	早 普									● 発生 期	● 前	● 再生 前 始			●	●	●			

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	1/1	一年 広葉 マハイ	ササ カヤ	クリ カヤ	ミズ カヤ	ヘチ モタ	クロ グ	モグ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 50. NC-311HW 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	(28)
	東北	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		(34)
	北陸	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		(38)
	関東 東山	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		(42)
	近畿 中国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	
	四国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	
	北海道	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	東北	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	北陸	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	関東 東山	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	近畿 中国	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(近畿～四国)

処理法	地域名	作期	1/1	一年 広葉 マハイ	ササ カヤ	クリ カヤ	ミズ カヤ	ヘチ モタ	クロ グ	モグ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 51. NC-311HW -1kg 粒 VII-1を併用 II-6-(5) II-6-(6) を併用	北海道	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	(28)
	東北	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	(34)
	北陸	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	(40)
	関東 東山	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	
	四国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	
	北海道	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	東北	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	北陸	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	関東 東山	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	近畿 中国	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1/1	一年 広葉 マハイ	ササ カヤ	クリ カヤ	ミズ カヤ	ヘチ モタ	クロ グ	モグ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 52. NC-311SC -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) を併用	北海道	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	(28)
	東北	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		(34)
	北陸	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		(40)
	関東 東山	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	九州	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	北海道	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	東北	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	北陸	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	関東 東山	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	近畿 中国	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1/1	一年 広葉 マハイ	ササ カヤ	クリ カヤ	ミズ カヤ	ヘチ モタ	クロ グ	モグ カ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 53. NC-311T -1kg II-6-(5) II-6-(6) を併用	北海道	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	(26)
	東北	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		(34)
	北陸	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		(36)
	関東 東山	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		(38)
	近畿 中国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	(40)
	四国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.5	(42)
	九州	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	北海道	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	東北	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	北陸	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	関東 東山	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	近畿 中国	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホクノイ	クリカワ	ミズ カ・ヤ フリ	ヘラモ タ・ナ	クロガ ワイ	オモガ カ	ヒルム シ・ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 54.NC-329 粒	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○	○前	○*	+5~+20 (/t ² 2.5L)	300 g/a	○	○	○	○	2	(34) (38) (40) (42)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○	○前	○**	+5 /t ² 2.5L		○	○	○	○		
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○	○前	○始			○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○	*:イノ/ササカ 始~2L		○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		○始	○始	○	○前	○	**: 始		○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○				○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		○始	○始	○	○前	○			○	○	○	○		
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○				○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		○始	○始	○	○前	○				○	○	○		
	九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○	○前	○					○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		○始		○	○前	○			○1	○	○	○	1.5	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（東北、関東～九州）
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（北陸～四国）

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホクノイ	クリカワ	ミズ カ・ヤ フリ	ヘラモ タ・ナ	クロガ ワイ	オモガ カ	ヒルム シ・ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 55.NC-329 -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) を併用	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○	○前	○*	+5~+20 (/t ² 2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(34) (40) (41)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○**			●	○	○	○		
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○	○前	○始			●	○	○	○		
	関東 東山 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○	*:イノ/ササカ 2L		○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○	**: 始~3cm		○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○			○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○			○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○				○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○			○	○	○	○	1.5	
	九州	早	●2.5	●				●2			○	○前	○				●	●	●		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○			○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホクノイ	クリカワ	ミズ カ・ヤ フリ	ヘラモ タ・ナ	クロガ ワイ	オモガ カ	ヒルム シ・ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 56.NC-345 -1kg 粒	北海道		●2.5	●	●2	●2		●2			●	○前	○	+5~+20 (/t ² 2.5L)	100 g/a	●	●	●	●	2	(28) (34)
	東北										●	○前	○								
	北陸											○	○始								
	関東 東山 東海	早										○	○								
		普										○	○								
	近畿 中国	早										○	○				●	●	●	1	
		普	●2.5	●	●2	●2	●2					○	○								
	四国	早										○	○								
		普	●2.5	●	●2	●2	●2					○	○				●	●	●		
	九州	早										○	○								
		普	●2.5	●	●2	●2	●2					○	○				●	●	●		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホクノイ	クリカワ	ミズ カ・ヤ フリ	ヘラモ タ・ナ	クロガ ワイ	オモガ カ	ヒルム シ・ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-1として 57.NC-351 粒	北海道		●2	●	●2	●2					●	○前	○	+5~ (/t ² 2.5L)	300 g/a			●	●	1.5	(28) (34)
	東北		●2	●	●2	●2	●2	●2			●	○前	○					●	●		
	北陸		●2	●	●2	●2	●2					○	○始					●	●	2	
	関東 東山 東海	早										○	○								
		普	●2	●	●2	●2	●2				●	○前	○					●	●		
	近畿 中国	早										○	○								
		普	●2	●	●2	●2	●2					○	○				●	●	●	1	
	四国	早										○	○								
		普	●2	●	●2	●2	●2					○	○				●	●	●		
	九州	早										○	○								
		普	●2	●	●2	●2	●2				●	○	○				●	●	●		

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カヤ	ヘラオモ ダ	クロガ ヲ	オモダ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	モリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 58.NC-355 顆粒水和 「継」	北海道	●2	●	●2	●2		●2				●発生 期	●前	●再生 前	+5~ノビエ2L	6 g/a	●	●	●	●	2	(28)
	東北	●2	●	●2	●2	●2							●再生 前		希水 50ml		●	●	●	1	
	北陸												●始								
	関東 東海	早											●再生 前								
	近畿 中国	早											●再生 前								
	四国	早											●再生 前								
	九州	早											●再生 前								

VII-2 59.NC-363 顆粒水和 「継」

VII-2 60.NC-365-1kg 粒 「継」

VII-2 61.NC-366-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カヤ	ヘラオモ ダ	クロガ ヲ	オモダ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	モリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 62.NCH-903 DEH-1kg 粒	喜楽平環境処理	北海道	●3	●	●2	●2		●2				●発生 期	●前	●再生 前	+5〜ノビエ3L	100 g/a		●	●	●	2	(28) (34)	
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前	+5〜ノビエ2.5L			●	●	●	1.5		
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2						●始					●	●	1		
		関東 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生 期	●前	●再生 前					●	●	●	2
		近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2						●再生 前	●再生 前					●	●	●	1
		四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2						●始	●始					●	●	●	
		九州	早 普	●3	●	●2		●2					●発生 期	●前			+5〜ノビエ3L				●	●	

VII-2 63.RYH-102-1kg 粒 「継」

VII-2 64.RYH-103 フロツル 「継」

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	ウリカワ	ミズ カヤ	ヘラオモ ダ	クロガ ヲ	オモダ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	モリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 65.TH-913ADE -1kg 粒	北海道	○3	○	○2	○2		○2				○発生 期	○前	○再生 前	+5~ノビエ3L	100 g/a	●	○	○	○	2	(28)
	東北	○3	○	○2	●2	○2	○2				●発生 期	●前	●再生 前			●	○	○	○	1.5	(34)
	北陸	○3	○	○2	○2	○2	○2					○前	○始			●	○	○	○	2	
	関東 東海	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前	+7~ノビエ3L		○	○	○	○		
	近畿 中国	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前			●	●	●	●	1	
	四国	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前			●	●	●	●	2	
	九州	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前			●	●	●	●	1	

VII-2のつづき

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミヅカワ	ヘラオモタ	クログ	オモタ	ヒルシロ	藻類層離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 66. TH-913SN 粒	千葉県 環境処理	北海道	○2.5	○	○2	○2		○2				○	○前	○再生前	+10~1/2×2.5L	300g/a	○ ⁵	○	○	○	2	(28) (34)
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○	○前	○前	+5~1/2×2.5L		○	○	○	○		
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2					○	○前	○前			○	○	○	○		
		関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○再生前			○	○	○	○		
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○前			○	○	○	○		
		近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○前			○	○	○	○	1	
		中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○前			○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○前			○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○前			○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○再生前			○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○前			○	○	○	○	1.5	

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミヅカワ	ヘラオモタ	クログ	オモタ	ヒルシロ	藻類層離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 67. TH-913SN -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) を併用	千葉県 養子養子環境処理	北海道	○2.5	○	○2	○2		○2				○発生期	○前	再生前	±5~1/2×2.5L *:エノノササキ クサシ ***:シズイ 2粒取3cm	100g/a	○	○	○	2	(28) (34) (40)
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			●発生期	○前	○前	○		○	○	○			
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	●2					●発生期	○前		○前	○	○	○	○	
		関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生期	○前		再生前	○	○	○	○	
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前		○前	○	○	○	○	
		近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前		○前	○	○	○	○	
		中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○*		○前	○	○	○	○	1
			○2.5	○	○2	○2	○2						○発生期	○*		○前	○	○	○	○	1.5
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生期	○前		○前	○	○	○	○	1
			○2.5	○	○2	○2	○2						○発生期	○*		○前	○	○	○	○	1.5
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生期	○前		○前	○	○	○	○	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2					●発生期	●	○	○	○	○	○				

	処理法	地域名	作期	1/2エ	広葉マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミヅカワ	ヘラオモタ	クログイ	オモタ	ヒルシロ	藻類層離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の 注意		
Ⅶ-2 68. TH-913SSC 粒 Ⅱ-6-(6) を併用	千葉県 養蚕・土壌処理	北海道	○2.5	○	○	○2	○2		○2			○	○前	●●	+10~1/2×2.5L	300 g/a	○	○	○	○	{ 2 8 } { 3 4 }		
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○	○発生期	●前	○再生前	+ 5 ~ 1/2 × 2.5 L		●	○	○			
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	●2						○始			●	○	○			
		関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生期		○再生前	*:エノノササキ 2L		○	○	○		○	1
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			●	○発生期	●前	○再生前			○	○	○		○	2
		近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	●前	○前			●	○	○		○	1
		中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			●	○発生期	●前	○前			●	○	○		○	2
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前	○			○	○	○		○	1
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				●発生期	●前	○再生前			●	○	○		○	2
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				●発生期	●前	○前			○	○	○		○	1
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前	○始			●	○	○		○	1.5

		処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミヅ ガ ワリ	ヘラオモ タ	クログ ワ	オモ タ	ヒルム シロ	藻類層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・製 品	砂 壌 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 69. NH-9302 -1kg 粒	千葉県 環境処理	北海道	●2.5	●	●2	●2		●2					●発生期	●前	●再生前	+ 5 ~ 1/2×2.5L	100 g/a	●	●	●	2	{ 2 8 } { 3 4 }			
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●発生期		●再生前				●		1				
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2						●前	●始				●					
		関東	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●発生期		●再生前			●	●		2			
		東海	普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●発生期	●前	●再生前					●	1			
		近畿	早													●始									
		中国	普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●発生期		●再生前				●	●				
		四国	早													●始									
		九州	普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●発生期		●再生前				●	●		2		
			早													●始									
			普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●発生期		●始				●	●	●			

VII-3-(1) 長期持続型一発処理剤

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ネグロ	クリカ	ミズ カヤ	ヘラ モタ	クロ クワ	オモ カ	ヒル シロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
VII-3-(1) 1.AC-014A 粒	土壌処理	北海道	●1.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●前	●再生前	+0~/t°x1.5L	300 g/a		●	●	●	2	(28)		
		東北	●1.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前						●	●	●			
		北陸	●1.5	●	●2	●2	●2	●2					●始						●	●		1	
		関東	早	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生期	●前			●再生前		●	●	●		●	2
		東海	普	●1.5	●	●始	●始	●始				●発生期	●前			●再生前				●		●	
		近畿	早													●始							
		中国	普																				
		四国	早																				
		普																					
九州	早																						
普																							

VII-3-(1) 2.AC-014A① 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミヅ カヤ ワリ	ヘラオモ ダツ	クロダ ワ	オモダ 	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用・ 量・製 品	砂 壌土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-3-(1) 3.AC-014C 1kg 粒	茎葉土壌処理	北海道	●2	●	●2	●2			●2			●発生期	●前	●再生前	+5～/t°±2L	100 g/a		●	●	●	2	(28) (34)	
		東北	●1.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生期	●前		+5～/t°±1.5L				●	●			
		北陸	●2	●	●2	●2	●2	●2							+5～/t°±2L					●	●		1
		関東	早																				
		東山	普																				
		海																					
		近畿	早																				
		中国	普																				
		四国	早																				
	普																						
	九州	早																		1.5			
		普	●2	●	●2	●始	●2										●	●	●	●			

VII-3-(2) 一年生持続型除草剤

	処理法	地域名	作期	ノビエ	広葉マツハイ	ネグロ	クリカ	ミズカヤ	ヘラモタ	クロクワ	オモカ	ヒルシロ	藻類剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意		
VII-3-(2) 1. CH-902 -1kg 粒	土壌処理	北海道	●1	●	●始										+5〜ノビエ1L	100 g/a	●	●	●	●	2	{ 1 8 } { 3 3 }		
		東北	●1	●	●始										+3〜ノビエ1L		●	●	●	●	1.5			
		北陸	○1.5	○	○2										+3〜ノビエ1.5L		●	●	○	○	2			
		関東	早	●1.5	●	●2											●	●	●	●	1			
		東海	普	○1.5	○	○2												○	○	○	2			
		近畿	早																					
		中国	普																					
		四国	早																					
		普																						
		九州	早																					
			普																					

VII-3-(2) 2.CHG-948-1kg 粒 「継」

VII-3-(2) 3.MSC-301-1kg 粒 「継」

	処理方法	地域名	作期 /ヒ・エ	年蒔 広葉 ツバキ	ネタ刈	ミヅ ノ ツリ	ヘリ エ タ タ	クロ グ ワ	エモ グ タ	ヒム シ ロ	漢 類 調 理	処理時期	使用 製品	砂 壌 土	埴 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用 上の 注意
Ⅴ-1 1. KUB-883D 1kg 粒	茅葉・茅土焼処理	北海道 東北								発生期	リ		100 g/a					2	(26) (34) (38) (41)
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○	+15~20 (ヒ・エ2.5L) 関東・東山・東 海の早期は2L		○	○	○	○		
		関東 東山 東海	早 〇2	○	○2	○2	○2			発生期	○前			●	○	○	○		
			普 〇2.5	○	○2	○2	○2			○期	○前			○	○	○	○		
		近 中 国	早 ●2.5	●	●2	●2	●2			●発生期	●前			○	○	●	●	1	
			普 ●2.5	●	●2	●2	●2			●発生期	●前			●	●	●	●	1.5	
		四 国	早 ●2.5	●	●2	●2	●2			●発生期	●前			○	○	●	●	1	
			普 ●2.5	●	●2	●2	●2			●発生期	●前			●	●	●	●	1.5	
		九 州	早 〇2	○	○2	○2	○2			発生期	○前			○	○	○	○	2	
			普 〇2	○	○2	○2	○2			○期	○前			○	○	○	○		

	処理方法	地域名	作期	ノビエ 広葉マツイ	一年 花マツイ	ホタルイ	クリカワ	ミヅ カリ	ヘチマ ダシ	クサフ イ	モネナ イ	ヒルムシ	藻類腐 屑	キリ		処理時期	使用量 g/a	砂・土 壌土	堆肥土	植土	減水 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-1 2. NC-311SCD 型	養分土壌処理	北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発 生期	●前 期	●再 生前 期	コサガウ	+15~ +20 (ノビエ2.5L)	300	●	●	●	2	(3 4) (3 6) (3 8) (4 0) (4 1) (4 2) (4 4)		
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●始	●始	●始	●再 生前 期	●再 生前 期	コサガウ				●	●	●			
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2		●始	●始		●再 生前 期				●	●	●			
		関東 東山 南海	早 普			●2	●2	●2	●2														
		近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発 生期	●前 期	●再 生前 期				●	●	●	1	
		四国	早 普	●2.5		●2	●2	●2	●2				●発 生期	●前 期	●再 生前 期				●	●	●		
		九州	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2		●始		●発 生期		コサガウ			●	●	●	●	1.5	
					●2.5	●	●2	●2	●2	●2		●始	●再 生前 期	●再 生前 期	コサガウ			●	●	●	●		

[illegible][illegible]

VII-2のつづき

処理法	地域名	作期	一年 広葉 マツハ	ネムリ	ウリカ	ミス カヤ アリ	ヘラオ モダ	クロ クワ	オモ ダカ	ヒルシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 2. NSK-850 粒	北海道											植代後～4	200 g/a						一発処理型 除草剤の 少量散布 (200g/a)が 可能
	東北																		
	北陸	●	●	●												●	●	1	
	関東	早																	
	東山	普																	
	南海																		
	近畿	早																	
	中国	普																	
	四国	早																	
		普																	
	九州	早																	
		普																	

水稲関係除草剤使用基準一覧表の表示について

- 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。(本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む。)
草種欄の数字、字句で草種の年齢を示した。【例：○前(発生前)、○2(2葉期まで)】
IVおよびVの項目の地域名の○は前年度までに実用化の認められている地域を示し、●は本年度新たに実用化の認められた地域を示した。
使用上の注意は別途一覧表の番号で記し、一覧表にない注意事項の場合は*を付し、欄外に字句を記載した。
- 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、処理時期・使用量を記載した。
- 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合
作期の拡大：拡大可能となった作期の適用草種・土壌に●を印した。
草種の拡大：拡大可能となった草種に●を印した。
年齢の拡大：拡大可能となった年齢にアンダーラインを付した。(例：○2.5)
処理時期、使用量の拡大：拡大部分にアンダーラインを付した。(例：+3～/㍻2L、50～75ml/a)
土壌条件の拡大：拡大可能となった土壌に●を印した。
- 「懸」、「継?」、「中止」の場合は判定のみ記載した。

新刊

SHIBUYA INDEX (英語版) —Index of Pesticides— 1993年版

渋谷成美・ほか／編集 A4判 850頁 定価30,000円(税込)

1978年に第1版を発行して以来、簡便に使える農薬リストとして知られていた本書の第6版。世界の農薬すべてを網羅し、一般名、商品名、コードナンバー、メーカー名、構造式、適用場面、特性を記載。単剤3,300余种を構造別に整理し、関連化合物の検索も容易にできる。また、混合剤で4,100余种も掲載。

呈内容見本

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館) 電話/03-3833-1821 FAX/03-3833-1665

平成6年度水稻関係除草剤ジャンボ剤使用基準一覧表

Ⅱ-2 移植前後土壌処理

処理法	地域名	作期	ノ・エ	一年広葉マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミス・カ・フリ	ヘラオモダ・カ	クログ・ワ	オモダ・カ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅱ-2 1. CG-113	北海道																			(45)
	東北		●始	●	●								+3~+5	50g x 2 ³ / _a	●	●	●	●	1.5	
	北陸		●	●	●	●											●	●	1	
	関東山	早																		
	東海	普																		
	近畿中	早																		
	国	普																		
	九州	早																		

処理法	地域名	作期	ノ・エ	一年広葉マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミス・カ・フリ	ヘラオモダ・カ	クログ・ワ	オモダ・カ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅱ-2 2. KPP-2005	北海道		○1	○	○始		●始						前夜~-4, 10~+3 (ノ・エ1L)	50g x 2 ³ / _a	●	○	○	○	2	(45) (46)
	東北		○	○	○	○							植代後~-4 +0~+3		●	○	○	○	1	
	北陸		○	○	○	○									●	○	○	○	2	
	関東山	早											植代後~-4 (ノ・エ1L)		○	○	○	○		
	東海	普	○1	○	○始	○始									○	○	○	○		
	近畿中	早											植代後~-4 +3 (ノ・エ1L)		○	○	○	○	1.5	
	国	普	○1	○	○始	○始									○	○	○	○		
	九州	早	●始	●	●	●							植代後~-4 +0~+3		●	●	●	●	1	

Ⅱ-2 3. RPJC-01 「継」

Ⅱ-3 移植後土壌処理

処理法	地域名	作期	ノ・エ	一年広葉マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミス・カ・フリ	ヘラオモダ・カ	クログ・ワ	オモダ・カ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅱ-3 1. AKD-7036	北海道											○始~盛	藻類・表層剥離 発生始~	50g x 2 ³ / _a	○	○	○	○	2	(45)
	東北											○始~盛	盛期		○	○	○	○	1	
	北陸											○始~盛			○	○	○			
	関東山	早											藻類・表層剥離・ウキクサ 発生始~盛期		○	○	○	○	2	
	東海	普										○始~盛								
	近畿中	早											藻類・表層剥離 発生始~		○	○	○	○	1	
	国	普										○始~盛	盛期		○	○	○	○		
	九州	早										○始~盛			○	○	○	○	1.5	

Ⅱ-5 適用時期拡大

処理法	地域名	作期	ノ・エ	一年広葉マツハ・イ	ホタルイ	ウリカワ	ミス・カ・フリ	ヘラオモダ・カ	クログ・ワ	オモダ・カ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅱ-5 1. DEH-112	北海道		●3										+15~+25 (ノ・エ2.5L~3L)	50g x 2 ³ / _a		●	●	●	2	(45) (47)
	東北		●3.5										+15~+35 (ノ・エ2.5L~3.5L)	50g x 2 ³ / _a	●	●	●	●	1.5	
	北陸		●3.5											50g x 2 ³ / _a	●	●	●	●	2	
	関東山	早											+20~+35 (ノ・エ2.5L~4L)	50g x 2 ³ / _a	●	●	●	●		
	東海	普	●4												●	●	●	●		
	近畿中	早																		
	国	普																		
	九州	早																		

II-6-(1) クログワイ対象

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ホノリ	クリカワ	ミスガヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-6-(1) 1. JC-940 II-6-(5) を併用	北海道 東北								●始			ノズイ ●始	+2～ 発生始まで	50g x2 /a			●	●	1.5	(40) (42) (45) (47)
	北陸																			
	関東 東海	早 普																		
	近畿 中国	早 普							●始							●	●	●	1	
	四国	早 普							●始							●	●	●		
	九州	早 普							●始						●	●	●	●		

II-6-(5) シズイ対象

II-6-(5) 1. JC-940 「実・継」 II-6-(1) No.1参照

VII 一発処理剤

VII 1. CH-908 「継」

VII 2. NC-353 「継」

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ホノリ	クリカワ	ミスガヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII 3. NSK-850D	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○前	+5～/t ⁺ 1.5L	50g x2 /a	●	○	○	○	2	(28) (45) (47)
	東北		○1	○	○始	●始	○始					○発生期	+5～/t ⁺ 1L	50g x2 /a	●	○	○	○	1	(28) (45) (47)
	北陸																			
	関東 東海	早 普																		
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

処理法	地域名	作期	ノヒエ	一年広葉マツハイ	ホノリ	クリカワ	ミスガヤフリ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII 4. NSK-850D○	北海道												+5～ /t ⁺ 1.5L	50g x2 /a						(28) (34) (45) (47)
	東北																			
	北陸		○1.5	○	○始	○始	○始					●前				○	○	○	2	
	関東 東海	早 普	○1.5	○	○2	○2	○2					●前	再生前 ●始		●	●	○	○		
	近畿 中国	早 普	○1.5	○	○始	○始	○始					●再生前 ●始			●	○	○	○		
	四国	早 普	○1.5	○	○始	○始	○始					●始			●	○	○	○		
	九州	早 普	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生期				●	●	○	○	1	

Ⅶのつづき

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カヤ フリ	ヘラモ ダカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意		
Ⅶ 5. SW-918④	土壌処理	北海道	○	1.5	○	○	始	○	始		○	発 生 期	+ 3 ~ /t ² 1.5 L	50g x22 /a	1.5	○	○	○	2	(45) (47)	
		東北	○	1.5	○	○	始	○	始	○	始										
		北陸																			
		関東 東山 東海	早 普																		
		近畿 中国	早 普																		
		四国	早 普																		
		九州	早 普																		

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カヤ フリ	ヘラモ ダカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 深 cm/d	使用上の 注意				
Ⅶ 6. SW-918	土 壌 処 理	北海道											ヒリ	+ 3 ~ /t ² 1.5 L	50g x22 /a						(6) (2 8) (3 4) (4 5) (4 7)				
		東北																							
		北陸		○1.5	○		○始	○始	○始																
		関東 東山 東海	早 普	○1.5	○		○2	○2	○2	○2			○			再生 期				○		○	1.5		
		近畿 中国	早 普	○1.5	○		○2	○2	○2	○2			●			再生 期		1.5	○	○		○	○	2	
		四国	早 普	○1.5	○		○始	○始	○始	○始			○			再生 期			○	○		○	○		
		九州	早 普	○1.5	○		○2	○2	○2	○始			○			再生 期			○	○		○	○	2	

Ⅶ-3-(1) 長期持続型一発処理剤

Ⅶ-3-(1) 1. AC-140 「継」

Ⅶ-3-(1) 2. AC-014C 「継」

Ⅶ-3-(2) 一年生持続型除草剤

Ⅶ-3-(2) 1. AC-140④ 「継」

水稻関係除草剤使用基準一覧表の表示について

1. 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。(本年度の試験の結果、特に拡大しない場合も含む。)
草種欄の数字、字句で草種毎の薬効を示した。【例：○前(発生前)、○2(2葉期まで)】

ⅣおよびⅤの項目の地域名の○は前年度までに実用化の認められている地域を示し、●は本年度新たに実用化の認められた地域を示した。

使用上の注意は別途一覧表の番号で記し、一覧表にない注意事項の場合は*を付し、欄外に字句を記載した。

2. 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、処理時期・使用量を記載した。
3. 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合

作 期 の 拡 大: 拡大可能となった作期の適用草種・土壌に●を印した。

草 種 の 拡 大: 拡大可能となった草種に●を印した。

薬 効 の 拡 大: 拡大可能となった薬効にアンダーラインを付した。(例: ○2.5)

処理時期、使用量の拡大: 拡大部分にアンダーラインを付した。(例: +3 ~ /t² 1.5 L, 50 ~ 75 ml/a)

土壌条件の拡大: 拡大可能となった土壌に●を印した。

4. 「継」、「継?」、「中止」の場合は判定のみ記載した。

使用上の注意一覧表

- (1) 低気温及び低水温は薬害の危険性があるので使用はさける。
- (2) 処理後2日以内に低温や降雨が予想される場合は使用をさける。
- (3) ごく浅植えの場合、薬害のおそれがあるので注意する。
- (4) 移植後の深水はさける。
- (5) 深水での処理はさける。
- (6) 散布は水稻になるべくかからないようにする。
- (7) 著しい高温条件下のときは、砂壤土ではクロロシスの発生が著しいので注意する。
- (8) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。
- (9) MCP混合剤の注意事項を守る。
- (10) 処理後の灌水は48〜72時間経過後に行なう。
- (11) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。
- (12) 落水もしくは浅水で使用する。
- (13) ミズガヤツリの多い水田では早めに散布する。
- (14) ミズガヤツリに対し遅い処理では、400g/a を処理する。
- (15) ホタルイ、ミズガヤツリ優先圃場では、400g/a で処理する。
- (16) ホタルイ多発田では早めに使用する。
- (17) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。
- (18) コナギ多発田では早めに処理する。
- (19) 一年生広葉雑草多発田では400g/a とし、特にヒメミソハギが多発する水田での使用は避ける。
- (20) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組合せで使用する。
- (21) 前処理剤との組合せで使用する。
- (22) 稀積水量は出来るだけ少く茎葉に付着するように散布する。
- (23) ノリ面散布は避ける。
- (24) 流入、飛散等による水稻への薬害に注意する。
- (25) 周辺の作物に飛散しないように注意する。
- (26) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。
- (27) ホタルイ多発田では、ホタルイに有効な中・後期剤との組合せで使用する。
- (28) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
- (29) コウキヤガラに有効な中・後期剤との組合せで使用する。
- (30) 水稻が水面に抽出してから使用する。
- (31) 短小苗、深水条件での使用は避ける。
- (32) クログワイ防除はクログワイに有効な後期剤との組合せで使用する。
- (33) 広葉多発田での使用はさける。
- (34) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
- (35) マツバイ多発田での使用はさける。
- (36) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組合せで使用する。
- (37) クログワイ防除の場合、同一成分含有薬剤を初期剤として使用しないこと。
- (38) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組合せで使用する。
- (39) ミズガヤツリ防除は、ミズガヤツリに有効な前処理剤との組合せで使用する。
- (40) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組合せで使用する。
- (41) 散布後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用を差し控える。
- (42) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組合せで使用する。
- (43) エゾノサヤマカグサ防除はエゾノサヤマカグサに有効な剤との組合せで使用する。
- (44) クサネムが残草または後発生した場合は有効な後期剤を散布する。
- (45) 水深5〜6cmの湛水条件で投入する。
- (46) 移植前処理は田面水が澄んでから投入する。
- (47) 藻類または表層剥離の発生しやすい水田では有効な剤との体系で使用する。